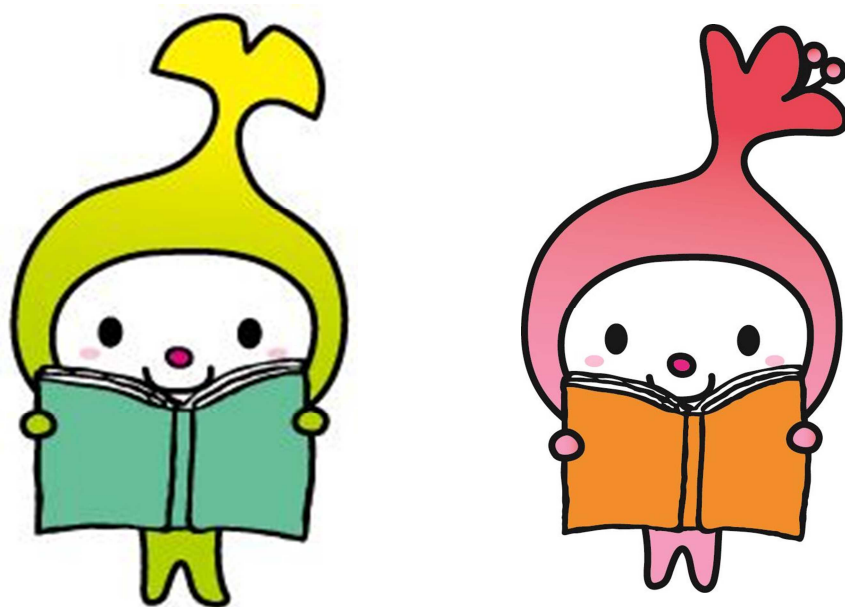


すべての子どもに読書の喜びを

第3次和光市子ども読書活動推進計画



平成30年3月
和 光 市

も く じ

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の位置付けと期間等	3
3 基本方針	4
4 計画の実現に向けて	4
5 5年後の目指す姿及び数値目標	5
第2章 前計画の達成状況	6
第3章 アンケート調査の結果等	11
1 「市内小中高校生の読書アンケート」の結果（概要）	11
2 計画策定に伴うアンケート調査等の結果（市内小中学校等）	17
第4章 アンケート調査、前計画の達成状況から読み取れる特徴と課題	19
第5章 計画の内容と推進のための施策	20
1 家庭・地域における読書の推進	21
2 保育施設・幼稚園における読書の推進	24
3 小学校・中学校における読書の推進	25
4 図書館における読書の推進	27
(1)乳幼児へのサービスの充実	
(2)小学生へのサービスの充実	
(3)中学生・高校生へのサービスの充実	
(4)職員の資質向上と体制づくり	
資料編	35
1 計画策定の経緯	36
2 図書館協議会委員名簿	36
3 「読書活動についてのアンケート調査」結果概要	37
アンケート調査票1（小中学生用）	52
アンケート調査票2（高校生用）	54
アンケート調査票3（各公共施設用）	56
子どもの読書活動の推進に関する法律	59

第3次和光市子ども読書活動推進計画の策定にあたって

子どもの読書活動は、豊かな感性や想像力を育て、子どもの成長に大きな役割を果たします。子どもたちは読書を通じて人生をより良く生きていくための力を培っていきます。

しかしながら、近年、ゲーム、スマートフォン、タブレット端末等の普及や生活環境の変化に伴い、子どもの「読書離れ」が指摘されています。読書習慣を形成するためには、乳幼児期から、絵本に触れたり、語りかけてもらいながら育つことが重要となってきます。

平成29年に行われた「第63回学校読書調査」（調査者：全国学校図書館協議会、毎日新聞社）によれば不読者（1か月に1冊も本を読まなかった人）は小学生5.6%、中学生15.0%、高校生50.4%となっています。前年平成28年の同調査と比較すると、小学生が微増となっています。

こうした中、本市では平成20年3月に「和光市子ども読書活動推進計画」、平成25年3月に「第2次和光市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進のため、家庭、地域、学校が一体となった取組を進めてきたところです。

図書館における乳幼児・小学生対象事業参加人数は、5年前と比較して増加しており、これまでの取組の中で読書の大切さを積極的に伝えていることが一定の効果を挙げている反面、「読書活動についてのアンケート調査結果」によると、5年前と比較して、中学2年生以外の小学3年生、5年生、高校2年生は本を「読まない」「ほとんど読まない」子どもの割合が高くなっているといった課題があります。

第2次計画の最終年度である平成29年度は、これまでの成果と課題を踏まえ策定作業を進め、この度「すべての子どもに読書の喜びを～第3次和光市子ども読書活動推進計画～」がまとまりました。

今後も、子どもの読書活動の推進は、子どもたちが自然に読書に親しめるような環境整備を行っていくことが望まれます。本市におきましても、家庭、地域、学校が連携して、本好きな子どもたちを育成するための活動の充実を図り、豊かな心の醸成ができるよう、読書活動の推進に努めてまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見ご提案をいただきました和光市図書館協議会委員の皆様をはじめ、アンケート調査等にご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げます。

平成30年3月

和光市教育委員会教育長 戸部 恵一

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

子どもの読書活動は「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条）です。しかしながら子どもを取り巻く社会環境、生活環境が変化するなかで、子どもの「読書離れ」が指摘されています。そのような中で、国は、現在策定中の「第3期教育振興基本計画」*の「今後の教育政策に関する基本的な方針」の中で「学校図書館の整備充実や公立図書館と学校の連携の推進、子供の読書活動の重要性に関する普及啓発等を通じ、子供の読書活動を推進する。」としています。今後より一層、家庭、地域、学校において、すべての子どもたちが、発達段階に応じた読書の機会を得られるよう、環境の整備に努めていくことが重要です。

本市におきましては、平成20年3月に「和光市子ども読書活動推進計画」を策定し、市内各小中学校、保育園等への団体貸出、ボランティアによる読み聞かせや乳幼児向け事業等、子どもの読書活動の推進に取り組んできた結果、平成21年11月には「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞、平成24年4月には文部科学省から「子ども読書活動優秀実践図書館」として表彰されました。その後、平成25年3月には「第2次和光市子ども読書活動推進計画」を策定し、計画に基づき、関係機関が子どもの読書活動推進に関する取組を展開し、読書環境づくりに努めてきました。

このたび、第2次計画の計画期間が満了することに伴い、成果と課題を踏まえ「第3次和光市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。今後はこの第3次計画に基づき、子どもが自主的に読書に向かうことができるように配慮しながら、読書の楽しさ、大切さを伝え、子どもがよりよく生きていく力を育てることを目的とし、読書活動の推進に努めてまいります。

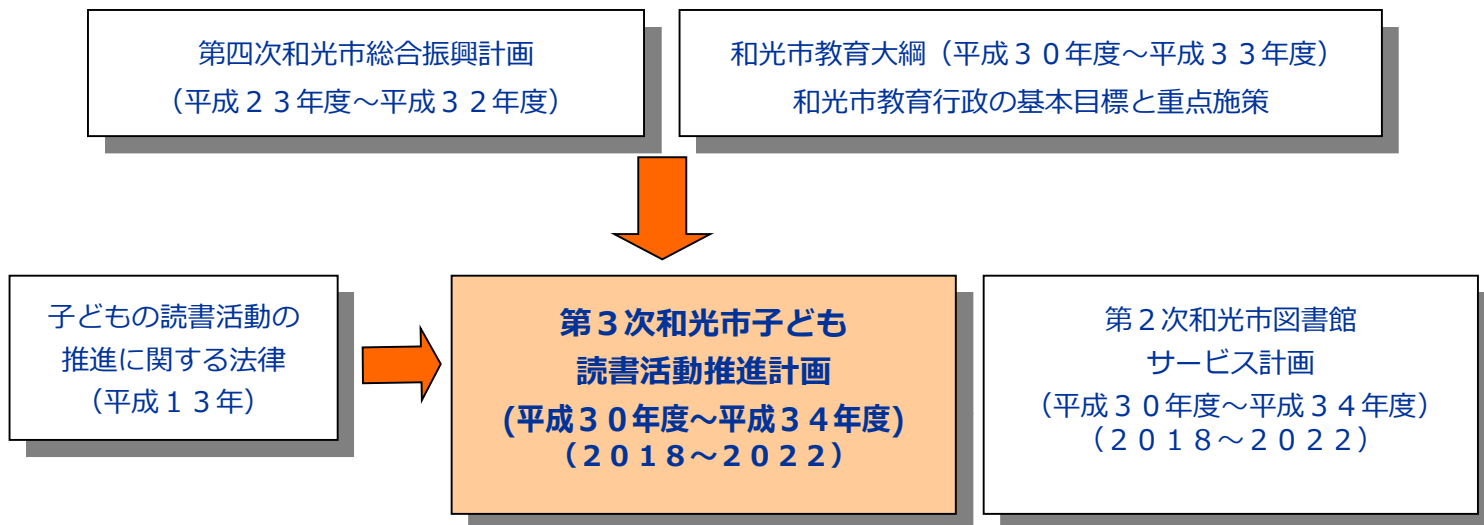
【国・県の動向】	
平成13年12月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」公布・施行
平成14年 8月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
平成16年 3月	「埼玉県子供読書活動推進計画」策定
平成25年 5月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定（国第三次計画）
平成26年 6月	学校図書館法一部改正（学校司書設置の努力義務規定）

*中央教育審議会教育振興基本計画部会（第8期～）「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について」（報告）

【和光市図書館の子ども読書活動に関わる動き】	
昭和37年 8月	大和町中央公民館図書室開室
昭和45年	県立移動図書館巡回開始
昭和46年	親子読書会「親と子のための児童文学を読む会」
昭和46年 6月	和光市中央公民館図書室開室
昭和47年11月	「和光市に移動図書館をつくる会」発足
昭和48年12月	移動図書館「やまびこ号」巡回開始
昭和49年 9月	坂下公民館図書室開室
昭和58年 5月	南公民館開室
昭和58年 8月	和光市図書館開館
昭和59年 5月	絵本とお話の会開始（和光絵本とお話の会による開催）
平成 5年 4月	市内小中学校学校図書館に図書館アドバイザー配置（旧名称図書整理員）
平成14年 4月	保育園に団体貸出を開始
平成16年 3月	学校図書館とオンライン化し、学校図書館の連携開始
平成20年 3月	和光市子ども読書活動推進計画策定
平成20年 4月	赤ちゃんとお話の会とわらべうた開始
平成21年 3月	布絵本貸出開始
平成21年11月	埼玉・教育ふれあい賞受賞
平成24年 4月	文部科学大臣表彰受賞（子どもの読書活動優秀実践図書館）
平成25年 3月	和光市図書館サービス計画及び第2次和光市子ども読書活動推進計画策定
平成25年 9月	ブックスタート開始
平成26年 2月	キッズルーム設置及び館内レイアウトの変更
平成26年 4月	マンガコーナー設置
平成26年 7月	出張ブックスタート開始
平成27年10月	赤ちゃんタイム開始
平成28年 4月	子ども読書通帳開始
平成28年10月	りんごの棚設置
平成28年11月	和光市図書館下新倉分館開館
平成29年 1月	わごガチャ開始（小・中学生）
平成30年 1月	わごガチャ利用対象を拡大（3歳～6歳）
平成30年 3月	第3次和光市子ども読書活動推進計画策定

2 計画の位置付けと期間等

❖ 計画の位置付け



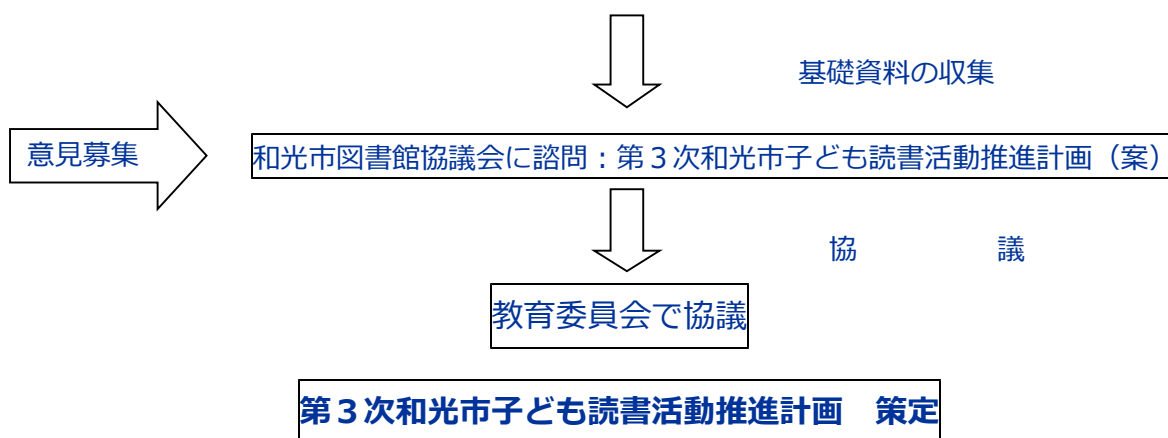
❖ 計画の期間

平成30年度から34年度までの5年間とします。なお、必要に応じて見直しを行います。

❖ 策定までの経緯

■ 第3次和光市子ども読書活動推進計画アンケート調査等の実施

- ▼ 市内小中高校生の読書アンケート (市内小学3・5年生・中学2年生、和光高校及び和光国際高校2年生)
- ▼ 第3次和光市子ども読書活動推進計画等の策定に伴うアンケート調査実施
(市内保育園・幼稚園・児童センター・児童館・子育て世代包括支援センター・保育クラブ、和光高校、和光国際高校、和光特別支援学校、和光南特別支援学校、市内小中学校)



3 基本方針

この計画は、次の3本柱をもって読書活動を推進します。

1 環境の整備・充実

子どもが、いつでもどこでも読書ができるよう、図書館及び学校図書館等の施設整備や図書館資料の充実を図ります。

2 連携・協働の推進

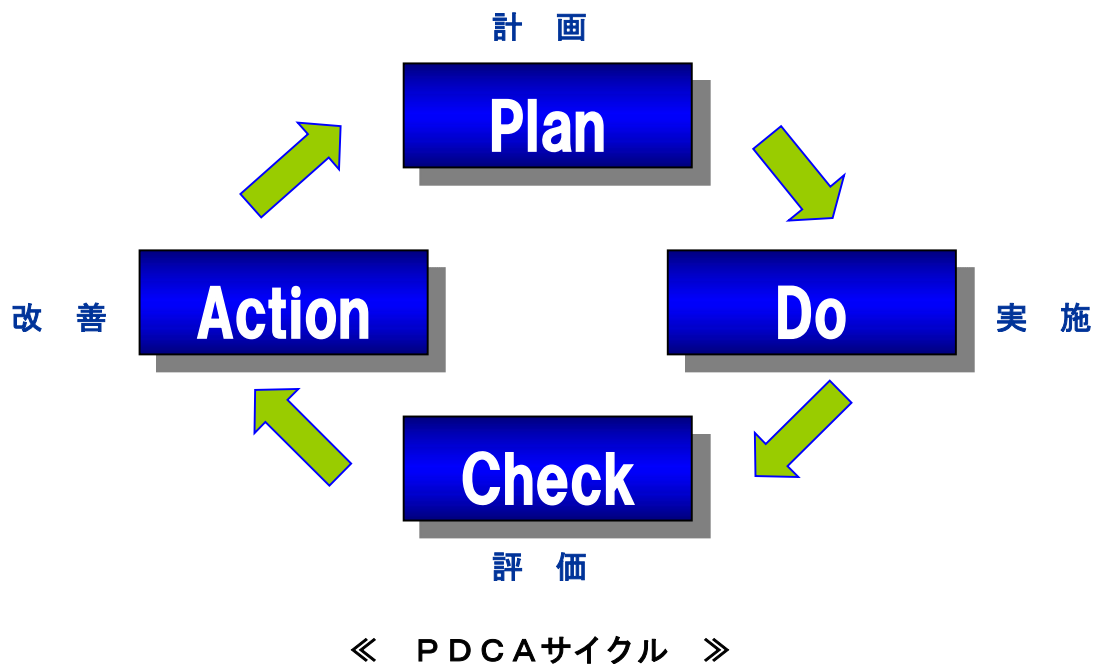
子どもの読書活動を推進するため、家庭、地域、学校、ボランティア等との積極的な連携・協働を推進します。

3 啓発・普及活動の充実

子どもが読書の楽しさや喜びに触れたり、親子がともに読書に親しむ機会が増えるよう、啓発・普及活動の充実を図ります。

4 計画の実現に向けて

本計画は、「第2次和光市図書館サービス計画」の『基本施策Ⅱ－施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実』及び『基本施策Ⅱ－施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実』の進捗状況を図書館協議会等で議論及び、次期計画策定時に実施するアンケート調査結果により計画の達成状況を確認していくものとします。



5 5年後の目指す姿及び数値目標

【5年後の目指す姿】

- ◎多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態
- ◎多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態

【数値目標】

■乳幼児・小学生対象事業等参加人数（人）※「和光の教育平成28年度」集会行事参加人数より

	現状値H29(2017) (H28)		目標値H34(2022) (H33 調査予定)
乳幼児・小学生対象事業等参加人数	3,608	➡	3,970

■読書活動についてのアンケート調査

<読書習慣の状況>

【問2】あなたは、本をよく読むほうですか。（まんが、雑誌をのぞく）

「よく読む」、「たまに読む」を合わせた割合（%）

	現状値H29(2017) (H29 調査)		目標値H34(2022) (H33 調査予定)
読書習慣がある児童の割合（小学生） 3年生、5年生の平均	75.5	➡	80.0
読書習慣がある児童の割合（中学生） 2年生	74.3	➡	80.0
読書習慣がある児童の割合（高校生） 2年生	52.3	➡	60.0

<不読率※>

【問6】今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたか。

0冊と回答した割合（%）


	現状値H29(2017) (H29 調査)		目標値H34(2022) (H33 調査予定)
(小学生) 3年生、5年生の平均	4.9	➡	2
(中学生) 2年生	3.7	➡	2
(高校生) 2年生	37.5	➡	26

※不読率・・・全国学校図書館協議会、毎日新聞社「学校読書調査」によると平成28年度小学生4.0%、中学生15.4%、高校生57.1%となっており、平成25年度策定の第3次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では不読率の目標値を平成34年度に小学生2%以下、中学生8%以下、高校生26%以下としている。

第2章 前計画の達成状況

第2次和光市子ども読書活動推進計画（平成25年度～平成29年度）の達成状況は、次のとおりです。

■乳幼児・小学生対象事業等参加人数（人）



	H24 (2012) (H23)		H29 (2017) (H28)
乳幼児・小学生対象事業等参加人数	1,539		3,608

■読書活動についてのアンケート調査結果

<読書習慣の状況>

【問2】あなたは、本をよく読むほうですか。（まんが、雑誌をのぞく）

「よく読む」、「たまに読む」を合わせた割合（%）

	H26 (2014) (H25 調査)		H29 (2017) (H29 調査)
読書習慣がある児童の割合（小学生） 3年生、5年生の平均	84.2		75.5
読書習慣がある生徒の割合（中学生） 2年生	68.9		74.3
読書習慣がある生徒の割合（高校生） 2年生	49.0		52.3

【問6】今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたか。

0冊と回答した割合（%）

	H26 (2014) (H25 調査)		H29 (2017) (H29 調査)
(小学生) 3年生、5年生の平均	4.0		4.9
(中学生) 2年生	9.3		3.7
(高校生) 2年生	40.0		37.5

■施策別の達成状況

<p>1 取組と推進 家庭・地域における</p>	<p>【家庭・地域における取組と推進】平成25年9月から図書館において「ブックスタート事業」、平成26年7月から「出張ブックスタート事業」を開始し、乳幼児のいる保護者に対し、語りかけの大切さを伝え、家庭における読書活動の推進につながるよう働きかけを行ってきました。下新倉分館においては、平成29年1月に「本の福袋」展示、平成29年3月に「ぬいぐるみのおとまり会」を実施し、大人も子どもも読書や図書館に親しむきっかけづくりを行ってきました。</p> <p>【地域の読書環境】平成28年11月に下新倉分館が開館し、本館から遠い地域の読書環境を整えることができました。また、公民館図書室の児童書整備や、児童センター、子育て世代包括支援センターへの団体貸出などを行ってきました。</p>
<p>2 取組と推進 保育園・幼稚園における</p>	<p>【保育園・幼稚園における取組と推進】図書コーナーの設置や読み聞かせ活動が実施され、積極的に取り組まれてきているところです。読書関係の取組については保育園、幼稚園ともに園によっては特に取組のないところがあるため、市内保育園、幼稚園全園で取組がなされるように図書館が働きかけを行う必要があります。</p> <p>【図書館の団体貸出利用】ほぼすべての保育園で実施しています。(新規設置園や小規模保育施設など未実施の園については、今後積極的に働きかけていきます。)</p> <p>【ボランティア、図書館による読み聞かせの出前】図書館を通じたボランティアが保育園4園で定期的に読み聞かせを行っています。その他にも園ごとに地域のボランティアや保護者のボランティアによる読み聞かせが行われています。今後も未実施の園については積極的な働きかけが必要です。</p> <p>【図書館と保育士との連携】実現することができませんでした。図書館がリーダーシップをとり連携に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>3 【小学校における取組と推進】</p>	<p>【校内一斉読書の推進】「朝読書」がほぼすべての小学校で実施されています。「読書マラソン」「ブックトーク」等、子どもが読書に親しむ機会や場の工夫については、各校が工夫をこらして実施しているところです。</p> <p>【図書委員会の活動】図書の選定、貸出業務、図書館委員会新聞等の発行の充実を図ることにつきましては各校で取組がされています。</p> <p>【推薦図書のブックリストの紹介】国語、理科、社会、総合的な学習の時間等を通して、全学校で幅広く本を紹介する活動が行われるよう支援する必要があります。</p> <p>【読書活動の体験】児童生徒が、幼稚園や保育園を訪問して、幼児への読み聞かせをするなど読書活動の体験については実施することができませんでした。先進事例を参考に今後実施できるよう働きかけを行っていきます。</p> <p>【保護者への啓発活動】わかりやすい読書のすすめのリーフレットの作成・配布については一部の学校で実施されました。今後はすべての小学校で実施されるよう働きかけていきます。</p> <p>【「読み聞かせ」活動等の保護者ボランティア活動奨励】学校応援団等、各校で実施されています。平成28年6月には下新倉小学校の読み聞かせボランティアができました。</p>

4 図書館における取組と推進
(1) 乳幼児への取組

【乳幼児への取組】乳幼児を持つ親子が身近なところで良い絵本に出会い、楽しい時間を過ごせるよう環境を整えたり、わらべうたや絵本を取り入れたあたたかい子育てが行われるよう、親に対する啓発活動を積極的に行ってきました。

【良質の乳幼児向け絵本、紙芝居等の収集・提供・保存】絵本コーナー、児童コーナー、子育て支援コーナーの充実を図ってきました。また2～6才用のブックリストとコーナーを設置しました。

【乳幼児向け事業】平成25年9月からブックスタート事業、平成26年7月から出張ブックスタート事業を開始しました。赤ちゃんを育てる方に語りかけの大切さや絵本の与え方、図書館を紹介できるようになりました。また平成27年10月から「赤ちゃんタイム」を実施し、乳幼児連れの親子が気軽に集える環境を整えました。

ボランティア団体「あゆみの会はじめのいっぽ♪」により、「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうた」事業を開催しました。読み聞かせの保育園訪問や、絵本とおはなしの会等をとおしての乳幼児と本をつなぐ取組、また「布の絵本」の提供については、図書館ボランティアの協力を得て充実が図られました。ボランティアによる読み聞かせの保育園訪問については4園で行うことができました。未実施の園については今後働きかけを行っていきます。

年齢別おすすめブックリストを作成し（0・1才、2・3才用の2種類）乳幼児健診時に配布してもらっています。平成29年4月には読み聞かせ手帳を発行しました。（0・1才、2・3才用）

保育園、子育て世代包括支援センターへの団体貸出（50冊～100冊）については、前期後期の2期制で取り組んできました。また、乳幼児から小学生向けに、子ども読書の日（4/23）おすすめの本、夏休みおすすめの本、冬休みおすすめの本と年3回ブックリストを作成しています。

平成28年11月に開館した下新倉分館においては隣接する下新倉児童館と連携し、幼児サークル参加者への読み聞かせ等を行ってきました。

【子育て支援のための情報提供】「ブックスタート」「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうた」「赤ちゃんタイム」と、乳幼児連れの親子が気軽に集える環境を整え、わらべうたやおすすめ本の紹介をしました。

出前講座の実施（わらべうた、絵本の読み聞かせ）については、依頼により実施しています。

4
(2) 図書館における取組と推進
小学生への取組

【小学生への取組】引き続き、良質の児童書等の収集・提供・保存を行ってきました。小学生向け事業としては、子どものための読書会（講師市内小学校教諭及び元教諭）を年4回開催、子どもの科学（外部講師）を年3回開催しました。

【本を使った調べ学習資料の貸出】各学校に制度が浸透し利用が増えているため、総合的な学習の時間等調べ学習に対応できるよう、適切な資料を複数揃え整備してきました。

【市内施設めぐりによる図書館の紹介や学校訪問】学校からの依頼により取り組んできました。各学級、学童クラブ、わこうっこクラブに対して、前期後期の2期制に変更し団体貸出を行ってきました。また司書教諭、図書館アドバイザー[※]との連携を積極的に図り、テーマ本貸出、学校訪問などにも取り組んできました。平成24年度からは学校図書館アドバイザー研修を実施し、学校図書館との連携をすすめてきました。（年3回）

【定期的な子どもの本のテーマ展示】子ども読書の日をはじめ、季節にちなんだ内容で毎月実施してきました。また平成27年度には学年別おすすめ本リストを作成し、常設コーナーを設置しました。下新倉分館においては低学年向け読み物のコーナー、教科書に載っている本のコーナーを設置しました。

【障害のある子どもの読書活動の推進】和光特別支援学校での読み聞かせや小中学校特別支援学級への団体貸出、布絵本の貸出、見学の受入れ等を実施してきました。平成28年度には、りんごの棚（特別なニーズのある子どもたち向けの資料を集めた棚）を本館、分館に新たに設置しました。

平成28年4月から小中学生向け「読書通帳」、また平成29年1月からは、「読書通帳」に20冊の本の記録を付けるごとに、カプセルが入っているディスプレイから景品を受け取る「わこガチャ」を導入し、子ども自身が楽しみながら読書の記録をつけ読書活動が活発になるよう支援しました。

平成28年11月に開館した下新倉分館においては、隣接する下新倉小学校図書室と連携を行い、蔵書の調整や、利用案内、利用登録、授業時間中の調べ学習利用等を実施しました。また隣接する下新倉児童館とも連携し、幼児サークル参加者への読み聞かせ、児童館事業実施時の関連資料貸出等を行ってきました。また保育クラブ児童が分館事業に参加しました。

また第3次計画策定にあたり、3年生、5年生を対象にしたアンケート調査と各学校の読書活動に関するアンケート調査を行いました。

※ 図書館アドバイザー：市内小中学校に1人配置されている非常勤職員。司書教諭を補佐する。

4
(3) 図書館における取組と推進
中学生・高校生への取組

■ 中学生への取組

【中学生への取組】各中学校に対し団体貸出を実施し、各学級に50冊から100冊の本の貸出に取り組んできました。また、本を使った調べ学習の資料の貸出は、各学校からの依頼に応じ行ってきました。

平成24年度からは、ティーン向け雑誌をYAコーナー※に設置し、また、興味をひくようなテーマで本の展示をするなど、中学生の興味に沿った魅力的な図書・雑誌の収集・提供・保存により充実を図ってきました。

【本を使った調べ学習の資料の貸出】各学校からの依頼に応じ行ってきましたが、今後は利用のない学校への働きかけを行っていく必要があります。

【中学生の興味に沿った魅力的な図書・雑誌の収集・提供・保存】ティーン向け雑誌を購入するなど、充実を図ってきました。平成27年3月からYA通信を発行し、YA世代への読書啓発を行いました。

また職場体験実習の受け入れを実施し、平成26年度からはビブリオバトルに参加してもらうなど、中学生が図書館に親しむ機会を提供することができました。

【中学生向け講座の充実】アニメの描き方や、ストーリーの作り方など中学生対象の事業を実施しました。平成26年4月からYAコーナーに「マンガコーナー」を設置し、YA世代の利用促進を図りました。

また第3次計画策定にあたり、2年生を対象にしたアンケート調査と各学校の読書活動に関するアンケート調査を行いました。

■ 高校生への取組

【高校生への取組】YAコーナーの充実として利用者のニーズを視野にいたした選書、資料の収集を行ってきました。

【高校生向け講座の充実】アニメの描き方や、ストーリーの作り方など高校生対象の事業を実施しました。平成29年8月にはビブリオバトルで高校生にゲスト出演及び審査員として参加してもらいました。

平成24年度からはじまった和光高校の社会体験学習を引き続き受け入れています。また第3次計画策定にあたり、ワークショップへの高校生の参加や、和光高校、和光国際高校の2年生を対象にしたアンケート調査と各学校の読書活動に関するアンケート調査を行いました。

※ YAコーナー（ヤングアダルトコーナー）：おおむね13才から18才向けの本を置いたコーナー

第3章 アンケート調査の結果等

1 「市内小中高校生の読書活動アンケート」の結果（概要）

1 対象

- (1) 小学校3年生、5年生（市内小学校9校）
- (2) 中学校2年生（市内中学校3校）
- (3) 高校2年生（市内県立高等学校2校）

2 目的

第3次和光市子ども読書活動推進計画の策定に必要な基礎データを収集するため、和光市内小・中学校児童及び生徒、市内高等学校の生徒にアンケート調査を行う。

3 実施期間

平成29年6月5日～13日（9日間）

4 対象者数及び回収数

対象者数：2,448人

回収数：2,325人

回収率：95.0%

	小学校3年生		小学校5年生		中学校2年生		高校2年生	
	児童数	回収数	児童数	回収数	生徒数	回収数	生徒数	回収数
白子小学校	71	68	75	71	/	/	/	/
新倉小学校	90	86	86	85	/	/	/	/
第三小学校	71	70	76	71	/	/	/	/
第四小学校	89	84	84	80	/	/	/	/
第五小学校	106	98	104	100	/	/	/	/
広沢小学校	71	67	73	66	/	/	/	/
北原小学校	67	34	66	65	/	/	/	/
本町小学校	39	39	46	46	/	/	/	/
下新倉小学校	73	71	69	67	/	/	/	/
大和中学校	/	/	/	/	276	267	/	/
第二中学校	/	/	/	/	141	132	/	/
第三中学校	/	/	/	/	184	177	/	/
和光高校	/	/	/	/	/	/	164	155
和光国際高校	/	/	/	/	/	/	327	326
計	677	617	679	651	601	576	491	481
回収率	91.1%		95.9%		95.8%		98.0%	

5 集計結果

以下、項目別の概要をまとめた。詳細は「資料編」を参照。

◆読書の好き嫌い (問1 あなたは本を読むことが好きですか)

全体で見ると、本を読むことが「好き」と答えた児童・生徒は44.6%で、「どちらかといえば好き」(33.5%)をあわせると、78.1%の児童・生徒が本を読むことが好きであることがわかる。

学年別に見ると、読書が好き(「好き」「どちらかといえば好き»)な児童・生徒の割合は、中学2年生までは約8割となるものの、高校2年生では「好き」が34.6%、「どちらかといえば好き」が37.3%であり、合わせると約72%となっている。

「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた児童・生徒の割合は、全体では16.2%であり、学年別で見ると高校2年生が最も高い数値(23.6%)となっている。

◆読書をする頻度 (問2 あなたは、本をよく読むほうですか)

全体で見ると、本を「よく読む」児童・生徒は30.0%である。一方、「ほとんど読まない(16.2%)」、「読まない(8.0%)」と回答した児童・生徒は24.2%にのぼり、およそ4人に1人が読書が習慣になっていない状態を示している。この数値は前回調査とほぼ同水準となっている。

学年別に見ると、読書が習慣となっていない(「ほとんど読まない」「読まない»)と回答した児童・生徒の割合は、小学校3年生で13.5%、小学校5年生で21.4%、中学校2年生で23.4%、そして高校2年生で44%とおよそ半数近くを示しており、年齢が高くなるにつれ読書離れしている傾向が見受けられる。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、小学3年生、小学5年生で「ほとんど読まない」、「読まない」割合が高くなっている。

◆読書をする理由 (問2-① 本を読むのは、どんな理由からですか)

本を読む理由はいずれの学年においても「たのしく、おもしろいから」が最多の回答となっている。学年別に見ると、「知らないことが分かり、ためになるから」「考える力がつくから」については小学校3年生、5年生が多く回答している。

◆読んでいる本の種類 (問2-② どんな本を読んでいますか)

全体を見ると、最も多く読まれている分野は「小説・物語」であり、次いで「趣味やスポーツ」、「歴史物語」となっている。

学年別に見ると、小学校3年生は「小説や物語」と回答した人は他の年代に比べて低くなる(45.3%)ものの、その代わりに「絵本」の回答が33.1%となっている。高校2年生は「小説・物語」を読む人がほとんどであり、他の分野に関しては全体的に低い傾向がうかがえる。

◆読書をしない理由 (問2-③ 本を「ほとんど読まない」「読まない」のはどんな理由からですか)

全体を見ると、本を読まない理由は「読みたいと思う本がないから(42.4%)」が最も多く、次いで「ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから(41.1%)」となっている。

学年別に見ると、小学校3、5年生、中学校2年生までは「ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから」とする回答が「習い事や部活など他のことに忙しく読む時間が無いから」とする回答より多く選択されているが、高校2年生になると逆転し、「習い事や部活」を本を読まない理由に挙げている人が多くなっている。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、小学3年生、小学5年生で「文章を読むのが苦手」が高くなっている。

◆本を読んでもらった経験の有無 (問3 あなたは小さいとき、本を読んでもらったことがありますか)

全体としては、50.9%が「よくあった」と回答しており、「たまにあった(26.1%)」と合わせると77%が小さいときに本を読んでもらったと回答していることがわかる。

学年別に見ても「よくあった」「たまにあった」の合計は75%を超えている。ただし、「よくあった」のみに着目すると、高校2年生は45.6%で、他の年代に比べてやや低い傾向となっている。

◆本を読んでもくれた人 (問3-① おもに誰に読んでもらいましたか)

全体を見ると、小さいときに本を読んでもくれた人として挙げられているのは「父親や母親」が最も多く、8割以上となっている。次いで「幼稚園や保育園や学校の先生」が46.9%となっており、保育・教育の場での読み聞かせ活動は成長しても記憶・経験として残ることがうかがえる。一方で「図書館の読み聞かせ」と回答した人は7.3%であり、「その他」を除くと最も低い数値となっている。

学年別でもおおむね傾向は一致しているが、高校2年生は「家族の人(おじいちゃん・おばあちゃん・兄や姉など)」と回答した人の割合が他の年代に比べて低くなっている。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、高校2年生を除き、「図書館の読み聞かせ」の割合が高くなっている。

◆ 読みたい本の入手方法 (問4 あなたは読みたいと思う本をどのようにして手に入れていますか)

高校生は市内在住者とは限らないことを考慮し、高校2年生向けの設問のみ「地元(和光市以外)の図書館から借りる」という項目を追加した。

全体を見ると、本屋さん(書店)で購入すると回答した人の割合が最も高く、64.3%にのぼる。一方で和光市の図書館から借りると答えた人の割合は約16%となっている。

学年別に見ると、小学生は学校図書室を活用しており、3年生が41.7%、5年生が37.0%と高くなっている。「和光市の図書館から借りる」と回答した人は、小学生は20%を超えるものの、中学生は11.6%、高校生は2.0%となっている。一方で高校生は和光市以外の「地元の図書館から借りる」と答えた人が10.6%であり、公共図書館を全く利用していないというわけではないことを理解しておく必要がある。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、「学校の図書室から借りる」「和光市の図書館から借りる」割合が低くなっている。

◆ 読む本の選び方 (問5 あなたが読む本は、どのようにして選んでいますか)

全体を見ると、本の選び方については「自分でさがす」人が約75%となり、他の項目と比較しても圧倒的であることがわかる。次に多いのが「友達にすすめられて」(17.5%)となっている。

学年別に見ると、「自分でさがす」は全ての年代において最上位となっている。「図書館のおすすめ」「学校の図書室のおすすめ」と答えた割合は小学校3年生では比較的高いものの、学年が上がるとその比重は下がる傾向にある。一方で、「友達にすすめられて」と答える人の割合は学年が上がるとつれて高くなり(高校2年生:26.3%)、本が友人同士を媒介する一つのコミュニケーション要素となり得ることがわかる。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、小学3年生で「自分でさがす」が減り、「流行っている本」の割合が高くなっている。

◆ 1箇月に読んだ本の冊数 (問6 今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたか)

全体を見ると、5月中の1箇月間において8割以上の人々が1冊以上の本を読んでいるということができる。

学年別に見ると、小学校3年生は35.9%の人が10冊以上の本を読んでいると回答しており、5年生の24.4%とともに小学生では多くの児童が本を読んでいることが分かる。一方で、1箇月間で「0冊」と回答した人は中学2年生までは多くても5.7%となっているが、高校2年生になると37.5%にのぼり、多くの生徒が本を読まなくなっていることが分かる。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、5月中に本を読まなかった中学校2年生の割合が特に低くなっている。(0冊と回答した生徒が少なくなった)

◆市内の図書館・公民館図書室の利用頻度（問7 あなたは、5月中に

和光市図書館、下新倉分館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を何回利用しましたか)

全体を見ると、5月中の1箇月間において、6割以上の方が和光市内の図書館・図書室を利用していないことがわかる。一方で、約3割の人が1回以上利用しており、中でも4回以上利用している人は1割程度いることがわかる。

学年別に見ると、年代があがるにつれて図書館を利用しない傾向が見受けられ、高校2年生になると約85%が利用していないと回答している。高校生になると市外在住の人も多数在学しており、問4の「地元（和光市以外）の図書館」を利用していることも一因と考えられる。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、小学3年生、小学5年生で図書館を「利用していない」割合が高くなっているが、「4回以上利用している」割合も高くなっている。

◆市内の図書館・公民館図書室の利用目的（問7-① どんなときに利

用しますか)

図書館を利用する理由として「読みたい本を借りるため」と回答した人は小学生（3・5年生）では7割を超えているのに対し、中学2年生では46.8%、高校生は30.4%と年齢が上がるにつれて割合が下がる傾向にある。同様に、「落ち着いて本を読みたいとき」という回答も年齢が高くなるにつれて割合が下がっている。それに対し、「宿題などの調べ物をするとき」と回答した人は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあることがわかる。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、「宿題などの調べ物をするとき」が高校2年生で増えている。

◆市内の図書館・公民館図書室を利用しない理由（問7-② 和光

市内の図書館を利用しないのは、どんな理由からですか)

高校生は市内在住者とは限らないことを考慮し、高校2年生向けの設問のみ「地元（和光市以外）の図書館を利用している」という項目を追加した。

全体的な傾向としては、「行く時間がない」ことが全体の半数以上を占めている。一方で高校生は市外在住者が多いためか、「場所がわからない」と回答する人が最も多い回答となっている。また、「読みたい本がない」という回答は小学校5年生、中学2年生で2割を超えている。これは本人の読書欲求が少ないことによるものか、和光市図書館の蔵書と本人の求める本のギャップが理由かは明らかでない。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、小学3年生、小学5年生で「読みたい本がない」「本に興味がない」割合が高くなっている。

◆和光市の図書館に希望すること（問8 和光市図書館に希望することは何ですか）

全体を見ると、図書館には「おもしろい本をおいてほしい」という希望が5割を超えて最多となっている。次いで「いつも開いていてほしい」が19.6%となっている。

学年別でも全体とほぼ同様の傾向が示されているが、小学校3年生は「調べ物で役に立つ本を置いてほしい」という希望が多く、25.0%に及ぶ。

＜5年前との比較＞平成29年度は、平成24年度に比べ、図書館に「行く時間がない」割合が高くなっている。



ぬいぐるみのおとまり会の様子

（1家庭・地域における読書の推進の取組：21p参照）

2 計画策定に伴うアンケート調査等の結果（市内小中学校等）

1 対象（ ）内は施設数

保育園（16）・幼稚園（4）・小学校（9）・中学校（3）・高等学校（2）・特別支援学校（2）・学童クラブ（12）・児童センター（館）（4）子育て世代包括支援センター（5）

2 実施期間

平成29年5月26日から6月14日まで

3 概要

<p>保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについては、アンケートを行った全ての園で日常的に行われており、保育士や保護者、地域ボランティアが実施している。 ・図書コーナーについては、設置している園と設置していない園があり、設置している園も所蔵数は100冊～600冊以上とさまざまであった。 ・読書関係の取組については、季節行事や遊びの中に本の題材を取り入れたり、園だよりで図書の紹介を行う、所蔵している本の貸出、月刊絵本の年間購読を保護者に勧める等、読書推進の取組を行っている園が多い。 ・図書館との関わりについては、団体貸出本の活用、図書館見学、読み聞かせ、大型絵本の貸出等で関わりを持っている。
<p>幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについては、アンケートを行った全ての園で日常的に行われており、職員や保護者ボランティアが実施している。 ・図書コーナーについては、設置している園と設置していない園があり、設置している園の所蔵数は1500冊～2000冊以上と比較的多い。 ・読書関係の取組については、季節行事や遊びの中に本の題材を取り入れたり、園だよりで図書の紹介を行う、月刊絵本の年間購読及び配布等、読書推進の取組を行っている園が多い。 ・図書館との関わりについては、全ての園で持っていないという回答であった。
<p>小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書については、ほぼ全ての学校で実施されており、日課の中に入れられないため、実施していない学校が（1校のみ）あった。 ・読み聞かせについては、全ての学校で実施されており、保護者や地域ボランティアの実施が多く、学校によっては図書館アドバイザーや教師が実施している学校もあった。回数については週1回～年3回位までさまざまであり、朝の時間を活用している学校が多かった。 ・読書関係の取組については、読書週間にイベントを実施、郷土作家の読み聞かせ、集会等の実施、学校によっては図書の授業で図書館アドバイザーが読み聞かせを行っている学校もあった。 ・学校図書館の活用については、教科の時間や総合的な学習の時間で全ての学校で活用しており、その他昼休みやクラブ活動等で活用している学校もあった。また、本の購入費やアドバイザーの出勤日数の少なさが問題点として上げられていた。 ・図書館の本の活用については、団体貸出本やテーマ別貸出本は全ての学校に活用されており、団体貸出本については、新しくきれいな本の提供を希望されている。

<p>中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書については、全ての学校で週5日実施されている。 ・読み聞かせについては、実施している学校と実施していない学校があり、実施している学校については、保護者や地域ボランティアの実施が多かった。回数については、月1回～2回と回答している学校があり、朝の時間を活用している学校が多かった。 ・読書関係の取組については、図書館だよりの発行、図書委員会によるイベント（スタンプラリー、掲示物、ブックトーク、本の展示等）活動を行っている学校もあった。 ・学校図書館の活用については、教科の時間や総合的な学習の時間で全ての学校で活用しており、その他昼休み等に活用している学校もあった。また、備品の購入費等が問題点として上げられていた。 ・図書館の本の活用については、団体貸出本については、全ての学校に活用されており、新しくきれいな本の提供を希望されている。
<p>高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書については、各学校で未実施となっている。理由として、日課表上時間を取ることが出来ない、という理由があげられていた。 ・読書関係の取組については、図書館だよりの発行、図書委員を中心に「おすすめの一冊」発行、授業での図書館利用の呼びかけ、ピブリオバトル開催、文化祭での古本市等を行っている。 ・学校図書館の活用については、各学校とも教科の時間、放課後、休み時間に活用されている。 ・図書館の本の活用については、各学校ともテーマ別貸出本の利用を希望されている。
<p>特別支援学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書については、各学校で未実施となっている。理由として、日課表上時間を取ることが出来ない、着替え等日常生活における指導時間のため、という理由があげられていた。 ・読書関係の取組については、図書委員として、本をたくさん読んだ生徒に表彰を行う、読み聞かせの会を計画。教員及び生徒による、本の読み聞かせ等を行っている。 ・学校図書館の活用については、各学校とも教科の時間、休み時間に活用されている。また、放課後に活用している学校もあった。 ・図書館との関わりについては、必要な時に連携を希望されている。
<p>学童クラブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについては、実施している施設と、実施していない施設があり、実施している施設に関しては、月2・3回～年5・6回とさまざまであり、季節の行事や長期休業時の午睡時に取り入れている施設が多かった。職員の他に、地域ボランティアや子供たちが行事等で実施している施設もあった。 ・図書コーナーについては、設置している施設と、設置していない施設があった。 ・図書館との関わりについては、全ての施設が団体貸出本を活用している。 ・読書関係の取組については、季節行事や遊びの中に本を取り入れている施設が多く、定期的子供たちへの聞き取りを行い、本の購入の参考や見直しを行っている施設もあった。
<p>児童センター（館）・子育て世代包括支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについては、実施している施設と、実施していない施設があった。実施している施設に関しては、週3回～年3・4回とさまざまであり、職員の他に、地域ボランティアが実施している施設があった。 ・図書コーナーについては、全ての施設が設置しており、所蔵数は100冊位～5000冊位とさまざまであった。 ・図書館との関わりについては、団体貸出本の活用、図書館見学、読み聞かせ、ブックスタート、大型絵本や紙芝居の貸出等で関わりを持っている。 ・読書関係の取組については、読み聞かせをサークル内で行う、行事や遊びの中に本を取り入れる、絵本の読み聞かせの講座を行っている（有料含む）、お便り等で読み聞かせの大切さを伝える、読み聞かせの様子をブログで発信している等、さまざまな取組を行っている。

第4章 アンケート調査、前計画の達成状況から読み取れる特徴と課題

1 「本を読む」小学生が減っている

「読書活動についてのアンケート調査」結果によると、5年前と比較して中学2年生を除き「読まない」、「ほとんど読まない」子どもの割合が高くなっています。

小学生に対して読書の楽しさを伝え、家庭において本に親しむことができるよう、働きかけを行う必要があります。

2 図書館と保育園・幼稚園・学校等との連携が不足している

保育園、幼稚園、小中学校のアンケート調査の結果等では、おおむね読書活動の取組が行われていましたが、同様の施設でありながら、読書活動の取組が未実施や取組が少ない施設もあります。また、図書館では団体貸出やテーマ本の貸出、また、図書館ボランティアによる出前の読み聞かせ活動などを実施してきましたが、図書館と学校図書館とのさらなる連携を求める意見があります。

このことから、図書館が、保育園、幼稚園、小中学校等での読書関係の取組がさらに充実するよう働きかけを行い、図書館と各施設との連携を強化する必要があります。

3 中高生を対象とした取組が少ない

「読書活動についてのアンケート調査」の結果では、中高生になるにつれて、「読書習慣がない」割合が増えるという結果が出ています。このことから、中高生向けの取組を実施し、中高生の読書活動を推進する必要があります。

第5章 計画の内容と推進のための施策

基本施策と取組内容

基本施策	取組内容	担当課所
1 家庭・地域における読書の推進	(1) 家庭における読書活動の推進	
	・ 乳幼児保護者向け啓発事業	【図書館】【公民館】
	・ 乳幼児向け事業、お届け講座	【図書館】
	・ 子どもに関わる大人に向けた事業	
	・ 読書通帳の活用	
	・ 読書のきっかけをつくる事業	
	・ ブックリストの作成、配布	【図書館】【ネウボラ課】
	(2) 地域における読書活動の推進	
2 保育施設・幼稚園における読書の推進	・ 団体貸出の実施	【図書館】
	・ 「本と出会えるところマップ」の作成	【スポーツ青少年課】
	・ 読み聞かせ事業の実施	【図書館】 【児童福祉施設】
3 小学校・中学校における読書の推進	・ 校内一斉読書の推進	【各小中学校】
	・ 子どもが読書に親しむ機会や場の提供	
	・ 図書委員会の活動の充実	
	・ 保護者への読書啓発活動の実施	
4 図書館における読書の推進	・ 図書館アドバイザー研修の実施	【学校教育課】【図書館】
	(1)乳幼児へのサービスの充実	
(2)小学生へのサービスの充実	・ 良質な乳幼児向け図書等の収集、保存	【図書館】
	・ 乳幼児向け事業等の充実	
(3)中学生・高校生へのサービスの充実	・ 市内各公共施設への団体貸出等の充実	
	・ 家庭・地域における取組への支援	
	・ 保育施設・幼稚園における取組への支援	
	・ 良質な児童向け図書等の収集・保存	【図書館】
	・ 市内各公共施設への団体貸出等の充実	
	・ 子ども向け事業の充実	
(4)職員の資質向上と体制づくり	・ テーマ展示及びブックリストの充実	
	・ 障害のある子どもたちへのサービスの充実	
	・ 学校における取組への支援	
	・ Y A (ヤングアダルト) コーナー等の充実	【図書館】
(4)職員の資質向上と体制づくり	・ 中高生向け講座の充実	
	・ 学校における取組への支援	
	・ 児童サービス研修への参加	【図書館】
(4)職員の資質向上と体制づくり	・ 児童サービスに関する情報の共有	
	・ 子どもの読書活動を推進するための体制づくり	

1 家庭・地域における読書の推進

■ 現 状

家庭における読み聞かせや地域での読み聞かせ体験は、子どものその後の読書活動に大きな影響を与えるといえます。平成25年9月から図書館において「ブックスタート事業」、平成26年7月から「出張ブックスタート事業」を開始し、乳幼児のいる保護者に対し、語りかけの大切さを伝え、家庭における読書活動の推進につながるよう働きかけを行ってきました。

地域の読書環境については、平成28年11月に下新倉分館が開館し、本館から遠い地域の読書環境を整えることができました。また公民館図書室の児童書整備や、児童センター（館）、子育て世代包括支援センター、学童クラブ等への団体貸出を行い、本と出会える場を提供しています。

■ 課 題

家庭においては、保護者が子どもが本に親しむ機会を作ったり、子どもと一緒に読書を楽しみ、子どもの読書活動に積極的に関わることが求められています。

地域においては、地域全体で子どもの読書活動を支援するために、読み聞かせボランティアの養成や市役所関係各課、市内公共施設などとの連携による取組が必要です。

■ 取組内容

(1) 家庭における読書活動の推進

- ・ 乳幼児保護者向け啓発事業【図書館、公民館】
- ・ お届け講座【図書館】
- ・ 乳幼児向け事業（ブックスタート、赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうた、赤ちゃんタイム）【図書館】
- ・ 子どもに関わる大人に向けた事業【図書館】
- ・ 読書通帳（わこガチャ）の活用【図書館】
- ・ 読書のきっかけを作る事業（本の福袋、ぬいぐるみのおとまり会）【図書館】
- ・ ブックリストの作成、配布【図書館、ネウボラ課】

家庭において本に親しむことができるよう、推薦図書などの啓発や子育て支援のための情報提供、乳幼児の保護者また妊産婦に対する啓発を行います。また子どもに関わる大人に向けて子どもの読書の大切さを伝えます。

図書館においておすすめ本のブックリストなどを作成し、読書の大切さを啓発するとともに、市役所関係各課と連携し、絵本をとおして親子が触れ合える環境や、子どもの身近に本がある環境を作り、家庭における読書活動の推進に努めます。また読書のきっかけをつくる事業を実施し、大人も子どもも読書の楽しみを広げる取組をすすめます。

② 地域における読書活動の推進

- ・ 団体貸出の実施【図書館】
- ・ 「本と出会えるところマップ」の作成【スポーツ青少年課】
- ・ 読み聞かせ事業の実施【図書館、児童福祉施設】

地域での読書活動を推進するため、読み聞かせボランティアの養成講座などを実施するとともに、公民館図書室、児童センター（館）や子育て世代包括支援センター、学童クラブ等と連携し、市内公共施設を地域の小さな図書館として充実させ、子どもが本と出会える場所を提供します。

取組年度

取組内容	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
1 家庭における読書活動の推進	継続	→	→	→	→
2 地域における読書活動の推進	継続	→	→	→	→



ブックスタートの様子

（1家庭・地域における読書の推進の取組：21p 参照）

本と出会えるところ

(1) 公民館

名称	時間	備考
坂下公民館	月～金 9時から17時 土 13時から17時	予約本の受け取りは毎日 9時～21時
中央公民館	月～金 9時から17時 土 13時から17時	予約本の受け取りは毎日 9時～21時
南公民館	月～金 9時から17時 土 13時から17時	予約本の受け取りは毎日 9時～21時

(2) コミュニティセンター

名称	時間	備考
新倉コミュニティセンター	9時から21時30分	お休み 毎週月曜日
吹上コミュニティセンター	9時から21時30分	お休み 毎週月曜日
白子コミュニティセンター	9時から21時30分	お休み 毎週月曜日
牛房コミュニティセンター	9時から21時30分	お休み 毎週月曜日

(3) その他

名称	時間	備考
総合児童センター	9時30分から17時	お休み 毎週火曜日・第3日曜日
下新倉児童館	9時30分から17時	お休み 毎週火曜日・第3日曜日
南児童館	9時30分から17時	お休み 毎週火曜日・第3日曜日
新倉児童館	9時30分から17時	お休み 毎週火曜日・第3日曜日
南子育て世代包括支援センター	9時から16時30分	お休み 日曜日・祝祭日
総合福祉会館	9時から21時30分	

(4) 地域文庫（居住者専用）

名称	時間	備考
ひまわり文庫 (和光官舎)	毎週月曜日 15時から16時30分	利用は和光官舎居住者のみ
すわはら文庫	毎週日曜日 10時から11時30分	集会所が開いている時間
D I Kなかよし文庫	9時から17時	

※参考「本と出会えるところマップ」発行：和光市青少年育成推進委員会
事務局：スポーツ青少年課青少年担当

2 保育施設・幼稚園における読書の推進

■ 現 状

各保育施設、幼稚園では図書コーナーを設置し、子どもの身近なところに本がある環境を作っています。また、一部の施設では、子どもや保護者へ本の貸出しも行っており、保育士、幼稚園教諭、ボランティアなどによる読み聞かせ活動も行っています。

保育施設においては、図書館からの団体貸出により、幅広い本に触れる機会を提供しています。

■ 課 題

平成29年5月に各保育施設、幼稚園などに実施したアンケート調査の結果では、図書コーナーの規模は施設によって差があり、図書の貸出を行っていないところもあります。図書コーナーについては、発達段階に応じた図書の整備や、図書館のリサイクル図書を活用するなど、充実を図る必要があります。

図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を利用している施設は一部にとどまっていることから、さらなる活用が求められています。また、子どもの一番身近にいる保育士、幼稚園教諭などの読み聞かせに関する研修等を行う機会が必要です。

■ 取組内容

1 図書コーナーの充実【各保育施設】

図書館の団体貸出や図書館リサイクル本の活用も含め、各施設の図書コーナーをさらに充実し、発達段階に応じた図書を揃えていきます。

2 各施設における読み聞かせ活動の充実【各保育施設】

図書館職員や図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を活用しながら、各施設における読み聞かせ活動の充実を図ります。

3 図書館との連携【各保育施設、図書館】

図書館で行われる絵本やわらべうた、読み聞かせに関する講座等への参加や園児の図書館訪問を実施するなど、図書館との連携を図ります。

取組年度

取組内容	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
1 図書コーナーの充実	継続	→	→	→	→
2 各施設における読み聞かせ活動の充実	継続	→	→	→	→
3 図書館との連携	継続	→	→	→	→

3 小学校・中学校における読書の推進

■ 現 状

学校においては、朝読書や読み聞かせの活動など、司書教諭や図書館アドバイザーが中心となり、児童・生徒を対象とした読書に関する取組が行われています。また、各教科の授業の中で、調べ学習など学校図書館や図書館を利用した活動も行われています。

■ 課 題

学校においては、司書教諭と図書館アドバイザー、保護者、学校応援団及びボランティアの連携により、よりいっそう充実した読書活動が求められています。

前計画に掲載されている学校における取組の中で、児童・生徒が保育施設や幼稚園で読み聞かせをする活動の実施が未達成となっています。

< 学校図書館の役割 >

学校図書館が、「読書センター」としての機能と「学習情報センター」としての機能を果たすために役立つ資料を収集します。

また児童・生徒が読書に親しむ心を養い、読書習慣を身につけることができるよう、学校全体で読書活動の推進に取り組みます。

■ 取組内容

1 校内一斉読書の推進【各小中学校】

朝の全校読書タイム、休み時間等、児童・生徒の読書活動の充実を図ります。

2 子どもが読書に親しむ機会や場の提供【各小中学校】

- (1) 「読書マラソン」・「ブックトーク」・「アニメーション^{*}」など、子どもが読書に親しむ機会や場の提供を行います。
- (2) 本を身近なものにするため、図書館から各学級が借りている本（団体貸出など）も含めて、学級文庫の充実を図ります。
- (3) 国語、理科、社会、総合的な学習の時間等を通して、推薦図書のブックリストの紹介をします。
- (4) 優秀な感想文や意欲的に読書に取り組んだ児童生徒を表彰し、子どもの努力を認める活動を広げます。
- (5) 児童・生徒が保育施設や幼稚園を訪問して、幼児への読み聞かせをするなど、読書活動の体験を広げていきます。
- (6) 保護者、学校応援団及びボランティアによる朝の読み聞かせを実施します。

^{*} アニメーション：クイズなどを取り入れたり、楽しく遊びながら、子どもを本の世界に引き入れる手法。

3 図書委員会の活動の充実【各小中学校】

図書の選定、貸出業務、POP作りや図書委員のおすすめ本紹介、新聞等を発行し、図書委員会活動の充実を図ります。

4 保護者への読書啓発活動の実施【各小中学校】

「読み聞かせ」活動等の保護者ボランティア活動の奨励を行います。また、読書のすすめのわかりやすいリーフレット等を作成、配布し、保護者への読書啓発活動を実施します。

5 図書館アドバイザー研修の実施【学校教育課、図書館】

各校に配置されている図書館アドバイザーの資質向上のため、図書館と協力し図書館アドバイザー研修を実施します。

取組年度

取組内容	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
1 校内一斉読書の推進	継続				
2 子どもが読書に親しむ機会や場の提供	継続				
3 図書委員会の活動の充実	継続				
4 保護者への読書啓発活動の実施	継続				
5 図書館アドバイザー研修の実施	継続				

4 図書館における読書の推進

(1) 乳幼児へのサービスの充実

■ 現 状

乳幼児への取組については、良質な乳幼児向け絵本の収集・保存のほか、ボランティアの協力による読み聞かせ活動などを行っています。平成25年9月からブックスタート事業、平成26年7月からは市内3か所の子育て世代包括支援センターにて出張ブックスタート事業を開始、平成27年10月から「赤ちゃんタイム」を実施し乳幼児連れの親子が気軽に集える環境を整えました。

また平成29年4月から「読み聞かせ手帳」の配布を開始しました。

■ 課 題

平成24年度に実施した「市内小中高校生の読書アンケート」と平成29年度に実施した同様のアンケート結果の比較では、「小さいときに本を読んでもらった」と回答した割合は高くなっており、家庭での読み聞かせが浸透してきたといえます。その一方で、「読書習慣がない」と回答した児童の割合は5年前より増加している結果が出ています。

子育て世代の利用については、年々増加しており、今後はさらなる子育て支援のための情報提供や、保護者からの読書相談に応じる必要があります。乳幼児への読書の推進に当たっては、子育て支援の視点を持って地域全体で取り組むことについて、市役所関係各課に働きかけることが必要です。

■ 取組内容

1 良質な乳幼児向け図書等の収集、保存【図書館】

「はじめてであう絵本コーナー」の充実を中心に、絵本、紙芝居等、良質な乳幼児向け図書等を計画的に収集、保存します。

2 乳幼児向け事業等の充実【図書館】

「赤ちゃんタイム」「赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」「絵本とおはなしの会」などの事業を実施し、乳幼児の読書活動を推進します。また、保育施設・幼稚園の図書館見学の受け入れ、親子が本を通して触れ合う機会としてブックスタート事業を継続し充実します。

3 市内各公共施設への団体貸出等の充実【図書館】

市内各公共施設（子育て世代包括支援センター、児童センター（館）等）や新設された市内保育施設への団体貸出等の充実を図ります。

4 家庭・地域における取組への支援【図書館】

家庭において本に親しむことができるよう、推薦図書などの紹介や子育て支援のための情報提供、乳幼児の保護者また妊産婦に対する啓発を行います。さらには、地域の身近な施設においても本に親しむことが出来るよう、児童センター（館）、子育て世代包括支援センターなどの活用や連携を行います。さらには、地域での読書活動を推進するため、読み聞かせボランティアの養成講座なども実施します。

5 保育施設・幼稚園における取組への支援【図書館】

保育施設・幼稚園での読み聞かせ活動推進のため、図書館職員や図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を実施するとともに、保育士や幼稚園教諭などが参加できる絵本に関する講座などを行います。

取組年度

取組内容	H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
1 良質な乳幼児向け図書等の収集、保存	継続	→			
2 乳幼児向け事業等の充実	継続	→			
3 市内各公共施設への団体貸出等の充実	継続	→			
4 家庭・地域における取組への支援	継続	→			
5 保育施設・幼稚園における取組への支援	継続	→			



赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうたの様子
(4図書館における読書の推進の取組：27p 参照)

(2) 小学生へのサービスの充実

■ 現 状

小学生への取組については、児童向け資料の収集・保存を行うとともに、図書館主催の読書会など各種事業を実施しています。

平成28年4月より読書通帳の配布、平成29年1月からわこガチャを開始し、本に親しむ習慣や意欲を促進し、児童生徒の読書推進を図っています。

平成28年10月には特別なニーズのある子どもたちのためのコーナー「りんごの棚」を本館に、次いで11月には分館に設置しています。児童向け大活字本のほか分館には児童向けデイズー図書等を整備しています。

平成28年11月に開館した分館においては低学年向けの「やさしいよみもの」コーナー、「教科書に載っている本」コーナーを設置しています。隣接する下新倉小学校児童の調べ学習や自由読書での利用や、学童クラブ児童の事業への参加、児童館サークル親子への読み聞かせ等連携を図っています。

■ 課 題

平成29年6月に実施した「市内小中高校生の読書アンケート」の結果では、読書習慣がない児童・生徒の割合は小学3年生では約1割となっていますが、小学5年生になると約2割となっており、年齢が上がるにつれ、読書習慣がない割合が高くなるといった結果が出ています。今後は小学生の読書習慣の形成につながるサービスに力を入れる必要があります。

その他、ブックトークや読み聞かせといった学校訪問についても、さらに多くの学校で実施できるよう積極的に働きかけをしていく必要があります。また、図書館システムを活用し、学校図書館と図書館との物流、学校図書館間の物流を実施するなど、児童の読書ニーズに応えることが求められています。

■ 取組内容

1 良質な児童向け図書等の収集・保存【図書館】

絵本、児童図書、紙芝居、雑誌など、良質で多様な資料の収集・保存に努めます。

2 市内各公共施設への団体貸出等の充実【図書館】

市内各公共施設（学童クラブ、児童センター（館）等）への団体貸出の充実を図ります。

3 子ども向け事業の充実【図書館】

読書会やおはなし会、科学講座、工作教室など幅広い事業に取り組み、小学生の読書活動の推進をします。また、夏休み宿題教室の開催や図書館見学の受入れ、調べ学習や本の探し方を支援する取組を実施します。さらには、子ども読書の日や読書週間に合わせ、読書活動に関する講座や企画等を開催します。

4 テーマ展示及びブックリストの充実【図書館】

季節にあったテーマやお勧めの本の展示を計画的に行うとともにおすすめブックリストを作成します。

5 障害のある子どもたちへのサービスの充実【図書館】

小学校の特別支援学級への団体貸出、布の絵本の貸出、障害の状態に応じた選書を行います。また、和光特別支援学校、和光南特別支援学校と連携し、見学の受入れや図書館職員、図書館ボランティアによる読み聞かせ訪問等を実施します。

りんごの棚コーナーの充実と普及に努めます。

6 学校における取組への支援【図書館】

市内小学校での読書活動推進のため、団体貸出、授業や修学旅行の際に活用するテーマ別の本の貸出、読み聞かせ・ブックトークの出前、市内施設めぐりによる図書館の紹介、学校向け図書館だよりの発行などを行います。また、司書教諭、図書館アドバイザー、学校応援団との連携を積極的に図り、小学校図書館活動への支援として本の選書に関する展示会の開催や、統計及び蔵書点検に関するサポート等を行います。

さらには、市内小中学校の図書館アドバイザーと各校で活動している保護者、学校応援団などの読み聞かせボランティアとの連携を進め、ボランティアの活動を把握し、図書館を会場に交流会や研修会などを開くなど、図書館アドバイザーとボランティアへの支援を図ります。

取組年度

取組内容	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
1 良質な児童向け図書等の収集、保存	継続	→	→	→	→
2 市内各公共施設への団体貸出等の充実	継続	→	→	→	→
3 子ども向け事業等の充実	継続	→	→	→	→
4 テーマ展示及びブックリストの充実	継続	→	→	→	→
5 障害のある子どもたちへのサービスの充実	継続	→	→	→	→
6 学校における取組への支援	継続	→	→	→	→

(3) 中学生・高校生へのサービスの充実

■ 現 状

これまで「第2次和光市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内各中学校へ団体貸出を行っているほか、図書館内にYA（ヤングアダルト）コーナーを設置し、中高生の読書活動の支援をしています。またマンガについては平成26年4月から設置しています。

また、市内中学生の職場体験学習の受入れを行い、平成24年度からは和光高校の社会体験活動の受入れも行っています。

平成26年度から中学生参加のビブリオバトルを実施しています。平成27年3月から「YA通信」を発行し、平成27年度からは市民図書館講座にて、アニメやライトノベルなど中高生向けの講座を実施しています。

平成29年度に、新たに中高生の参加による「図書館クラブ」を実施しました。この事業により中高生の自主的な工夫によりYA（ヤングアダルト）コーナーの充実を図ります。

■ 課 題

平成27年度から中高生向けの講座を実施していますが、より中高生が興味を持つような講座を行うことや、市内の中学校や高校に広報するなど、情報を発信していくことが必要です。

平成29年6月に実施した「市内小中高校生の読書アンケート」の結果では、高校生は小学生、中学生より読書習慣がない割合が高いといった結果が出ています。

図書館協議会においては、図書館が中高生の居場所づくりを進める必要があるといった意見があります。

ソーシャルネットワーキングサービス^{*}については導入できていません。

^{*}ソーシャルネットワーキングサービス：インターネットを使って、特定の関心をもつ人同士が出会うチャンスをつくり、情報交換ができるようにするサービスの総称。略称 SNS。[日本大百科全書(小学館)]

■ 取組内容

1 Y A (ヤングアダルト) コーナー等の充実【図書館】

ヤングアダルト本の充実をはじめ、ティーンズ主体の新聞発行や館内において中高生が感じることを自由に書き込むことが出来るティーンズノート伝言板の設置を検討します。また、職業・受験対策関連分野の強化、知的好奇心の刺激や学校生活に役立つ資料など文学以外の分野も充実します。さらには、ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、図書館サービス等の情報提供に努めます。

2 中高生向け講座の実施【図書館】

学校等と連携し、図書への関心や興味を引き出すための講座、ブックトークや中高生参加型のビブリオバトルや図書館クラブ等を実施します。

本館と和光国際高校、下新倉分館と和光高校の連携を強化し、講座等を開催します。

3 学校における取組への支援【図書館】

学校図書館と連携し、調べ学習など学校教育を支援するための団体貸出を充実するとともに、職場体験や社会体験活動の受け入れを積極的に行います。

取組年度

取組内容	H 3 0 (2018)	H 3 1 (2019)	H 3 2 (2020)	H 3 3 (2021)	H 3 4 (2022)
1 Y A (ヤングアダルト) コーナー等の充実	継続	→	→	→	→
2 中高生向け講座の実施	継続	→	→	→	→
3 学校における取組への支援	継続	→	→	→	→



Y A 向け講座の様子
(4 図書館における読書の推進の取組)

(4) 職員の資質向上と体制づくり

■ 現 状

職員の資質の向上については、県の主催する児童奉仕研修会へ計画的に職員を派遣しています。

■ 課 題

研修に参加できる人数は限られていることから、多くの職員が能力向上するには時間がかかります。

また、子どもの読書に関わる体制づくりが求められています。

■ 取組内容

1 児童サービス研修への参加【図書館】

児童サービスに関する知識向上のため、今後も県の主催する児童奉仕研修会に計画的に参加します。

2 児童サービスに関する情報の共有【図書館】

研修会参加者が報告することにより児童サービスに関する情報の共有をはかります。

3 子どもの読書活動を推進するための体制づくり【図書館】

和光市全体で子どもの読書活動を推進するために、子どもの読書に関わる担当者の情報共有や意見交換のための場を設けることを検討します。

取組年度

取組内容	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
1 児童サービス研修への参加	継続				
2 児童サービスに関する情報の共有	継続				
3 子どもの読書活動を推進するための体制づくり	検討	実施			

資料編

1 計画策定の経緯

◆ 平成29年

5月26日(金)～6月14日(水)	計画の策定に伴うアンケート調査 (市内保育園・幼稚園・児童センター・児童館・子育て世代包括支援センター・学童保育クラブ・和光高校・和光国際高校・和光特別支援学校・和光南特別支援学校・市内小中学校)
6月5日(月)～6月13日(火)	「市内小中高校生の読書アンケート」調査 (回答者数2,325人)
8月31日(木)	第1回 和光市図書館協議会
9月1日(金)～10月30日(月)	図書館協議会委員電子メール及び対面ヒアリング等による意見提出・意見交換(1回目)
11月17日(金)～11月24日(金)	市役所内関係課(ネウボラ課、保育施設課、保育サポート課、学校教育課、生涯学習課、スポーツ青少年課)による内容確認
11月28日(金)～12月5日(火)	図書館協議会委員電子メール及び対面ヒアリング等による意見提出・意見交換(2回目)
12月8日(金)	第2回 和光市図書館協議会
12月21日(木)	定例教育委員会

平成30年

1月9日(火)～1月28日(日)	パブリック・コメント
2月14日(水)	第3回 和光市図書館協議会
2月22日(木)	定例教育委員会

2 図書館協議会委員名簿

	氏名	性別	選出母体
1	橋爪 永 <small>はしづめ ひさし</small>	男	和光市小・中学校校長会
2	伊藤 正志 <small>いとう まさし</small>	男	和光市内の県立学校
3	佐々木 麻由子 <small>ささき まゆこ</small>	女	和光市社会教育委員
4	五十嵐 康世 <small>いがらし やすよ</small>	女	和光市公民館運営審議会
5	八木 久仁 <small>やぎ くに</small>	女	ひまわり倶楽部
6	小熊 尋子 <small>おぐま ひろこ</small>	女	NPO 法人わこう子育てネットワーク
7	関口 泰典 <small>せきぐち やすのり</small>	男	公募
8	柳下 昇 <small>やぎした のぼる</small>	男	公募
9	石川 敬史 <small>いしかわ たかし</small>	男	十文字学園女子大学
10	泉 峰子 <small>いずみ みねこ</small>	女	国立保健医療科学院

【読書活動についてのアンケート調査】結果概要

「第3次和光市子ども読書推進活動計画」を策定するための基礎資料として、市内の小中学校の児童・生徒を対象に「読書活動についてのアンケート」調査を行いました。調査の概要、各質問及び回答内容は次のとおりです。

○ 調査時期 平成29年6月5日～13日

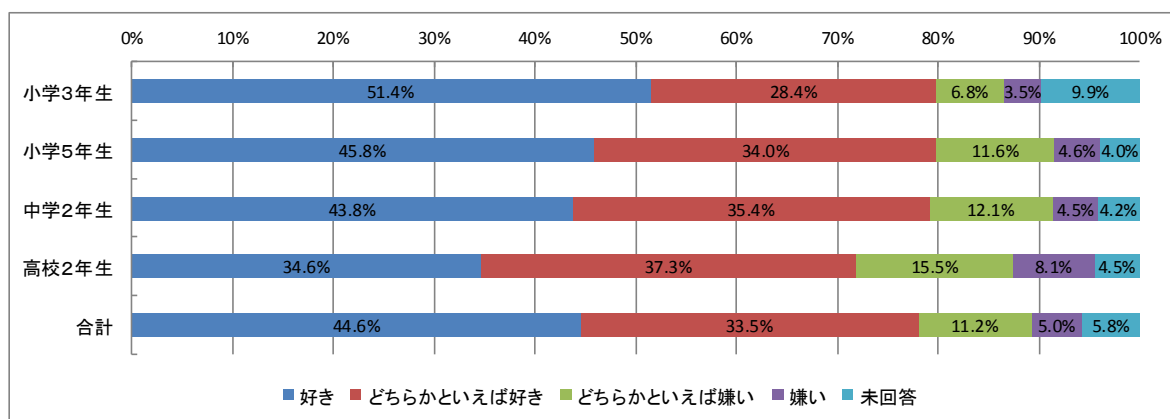
○ 調査対象学年、人数

	小学校3年生		小学校5年生		中学校2年生		高校2年生	
	児童数	回収数	児童数	回収数	生徒数	回収数	生徒数	回収数
白子小学校	71	68	75	71				
新倉小学校	90	86	86	85				
第三小学校	71	70	76	71				
第四小学校	89	84	84	80				
第五小学校	106	98	104	100				
広沢小学校	71	67	73	66				
北原小学校	67	34	66	65				
本町小学校	39	39	46	46				
下新倉小学校	73	71	69	67				
大和中学校					276	267		
第二中学校					141	132		
第三中学校					184	177		
和光高校							164	155
和光国際高校							327	326
計	677	617	679	651	601	576	491	481
回収率	91.1%		95.9%		95.8%		98.0%	

I 日頃の読書状況

【問1】あなたは、本を読むことが好きですか。

	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	未回答	合計
小学3年生	348	192	46	24	67	677
	51.4%	28.4%	6.8%	3.5%	9.9%	100.0%
小学5年生	311	231	79	31	27	679
	45.8%	34.0%	11.6%	4.6%	4.0%	100.0%
中学2年生	263	213	73	27	25	601
	43.8%	35.4%	12.1%	4.5%	4.2%	100.0%
高校2年生	170	183	76	40	22	491
	34.6%	37.3%	15.5%	8.1%	4.5%	100.0%
全体	1092	819	274	122	141	2448
	44.6%	33.5%	11.2%	5.0%	5.8%	100.0%



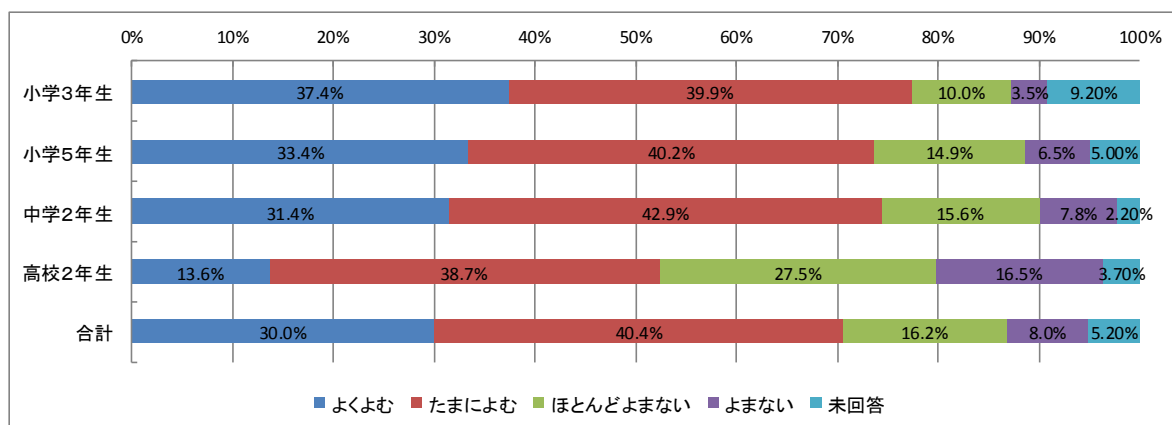
全体で見ると、本を読むことが「好き」と答えた児童・生徒は44.6%で、「どちらかといえば好き」(33.5%)を合わせると、78.1%の児童・生徒が本を読むことが好きであることがわかる。
 学年別に見ると、読書が好き(「好き」「どちらかといえば好き」)な児童・生徒の割合は、中学2年生までは約8割となるものの、高校2年生では「好き」が34.6%、「どちらかといえば好き」が37.3%であり、合わせると約72%となっている。
 「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた児童・生徒の割合は、全体では16.2%であり、学年別で見ると高校2年生が最も高い数値(23.6%)となっている。

<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	未回答	合計
	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い		
小学3年	426人	181人	40人	17人	11人	675人
割合	63.1%	26.8%	5.9%	2.5%	1.6%	100.0%
小学5年	289人	240人	72人	22人	13人	636人
割合	45.4%	37.7%	11.3%	3.5%	2.0%	100.0%
中学2年	221人	173人	85人	47人	14人	540人
割合	40.9%	32.0%	15.7%	8.7%	2.6%	100.0%
高校2年	173人	172人	78人	35人	22人	480人
割合	36.0%	35.8%	16.3%	7.3%	4.6%	100.0%
全体	1109人	766人	275人	121人	60人	2331人
割合	47.6%	32.9%	11.8%	5.2%	2.6%	100.0%

【問2】あなたは、本をよく読むほうですか。(まんが、雑誌をのぞく)

	よく読む	たまに読む	ほとんど読まない	読まない	未回答	合計
小学3年生	253	270	68	24	62	677
	37.4%	39.9%	10.0%	3.5%	9.2%	100.0%
小学5年生	227	273	101	44	34	679
	33.4%	40.2%	14.9%	6.5%	5.0%	100.0%
中学2年生	189	258	94	47	13	601
	31.4%	42.9%	15.6%	7.8%	2.2%	100.0%
高校2年生	67	190	135	81	18	491
	13.6%	38.7%	27.5%	16.5%	3.7%	100.0%
全体	736	991	398	196	127	2451
	30.0%	40.4%	16.2%	8.0%	5.2%	99.9%



全体で見ると、本を「よく読む」児童・生徒は30.0%である。一方、「ほとんど読まない(16.2%)」、「読まない(8.0%)」と回答した児童・生徒は24.2%にのぼり、およそ4人に1人が読書が習慣になっていない状態を示している。この数値は前回調査とほぼ同水準となっている。

学年別に見ると、読書が習慣となっていない(「ほとんど読まない」「読まない」と回答した児童・生徒の割合は、小学校3年生で13.5%、小学校5年生で21.4%、中学校2年生で23.4%、そして高校2年生で44%とおおよ半数近くを示しており、年齢が高くなるにつれ読書離れしている傾向が見受けられる。

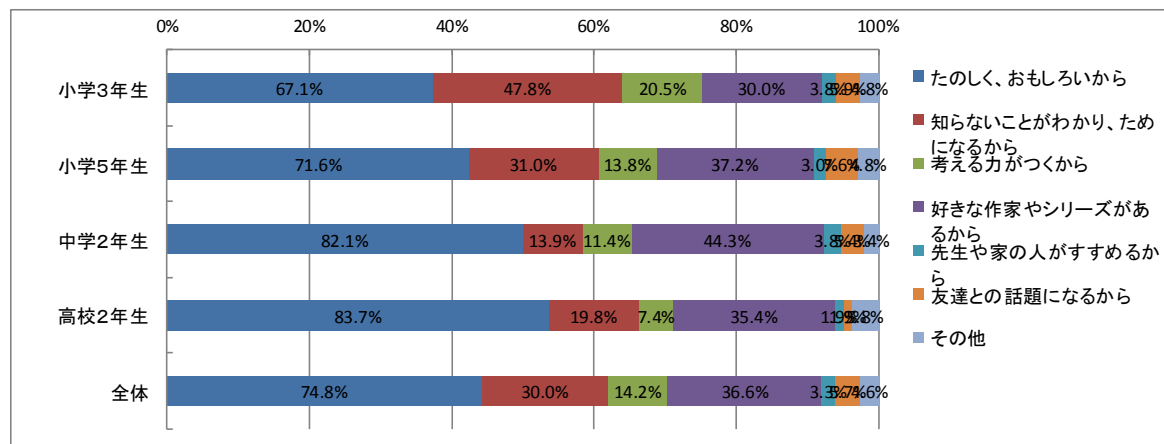
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	未回答	合計	
	よく読む	たまに読む	ほとんど読まない	読まない			
小学3年	293人	304人	49人	21人	8人	675人	
割合	43.4%	45.0%	7.3%	3.1%	1.2%	100.0%	(n=675)
小学5年	209人	298人	88人	29人	12人	636人	
割合	32.9%	46.9%	13.8%	4.6%	1.9%	100.0%	(n=636)
中学2年	160人	212人	92人	63人	13人	540人	
割合	29.6%	39.3%	17.0%	11.7%	2.4%	100.0%	(n=540)
高校2年	79人	156人	132人	90人	23人	480人	
割合	16.5%	32.5%	27.5%	18.8%	4.8%	100.0%	(n=480)
全体	741人	970人	361人	203人	56人	2331人	
割合	31.8%	41.6%	15.5%	8.7%	2.4%	100.0%	(n=2331)

【問2】で本を「よく読む」「たまに読む」と答えた人】

【問2-①】本を読むのは、どんな理由からですか。(2つまでの複数回答)

	たのしく、おもしろいから	知らないことがわかり、ためになるから	考える力がつくから	好きな作家やシリーズがあるから	先生や家の人のおすすめから	友達との話題になるから	その他	合計	n
小学3年生	351 67.1%	250 47.8%	107 20.5%	157 30.0%	20 3.8%	31 5.9%	25 4.8%	941	523
小学5年生	358 71.6%	155 31.0%	69 13.8%	186 37.2%	15 3.0%	38 7.6%	24 4.8%	845	500
中学2年生	367 82.1%	62 13.9%	51 11.4%	198 44.3%	17 3.8%	24 5.4%	15 3.4%	734	447
高校2年生	215 83.7%	51 19.8%	19 7.4%	91 35.4%	5 1.9%	5 1.9%	15 5.8%	401	257
全体	1291 74.8%	518 30.0%	246 14.2%	632 36.6%	57 3.3%	98 5.7%	79 4.6%	2921	1727



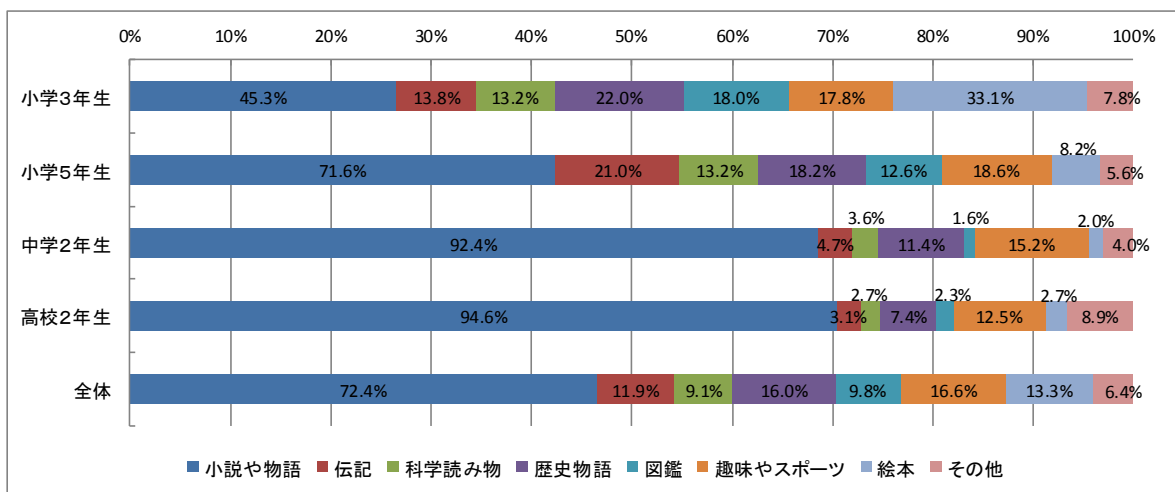
本を読む理由はいずれの学年においても「たのしく、おもしろいから」が最大の回答となっている。学年別に見ると、「知らないことがわかり、ためになるから」「考える力がつくから」については小学校3年生、5年生が多く回答している。

<参考：前回調査結果>

	ア たのしく、おもしろいから	イ 知らないことがわかり、ためになるから	ウ 考える力がつくから	エ 好きな作家やシリーズがあるから	オ 先生や家の人のおすすめから	カ 友達との話題になるから	キ その他	合計
小学3年	433人	287人	138人	167人	15人	25人	21人	1086人
割合	72.5%	48.1%	23.1%	28.0%	2.5%	4.2%	3.5%	181.9% (n=597)
小学5年	351人	149人	70人	220人	21人	36人	18人	865人
割合	69.2%	29.4%	13.8%	43.4%	4.1%	7.1%	3.6%	170.6% (n=507)
中学2年	284人	49人	27人	189人	10人	24人	28人	611人
割合	76.3%	13.2%	7.3%	50.8%	2.7%	6.5%	7.5%	164.2% (n=372)
高校2年	186人	47人	20人	82人	5人	12人	8人	360人
割合	79.1%	20.0%	8.5%	34.9%	2.1%	5.1%	3.4%	153.2% (n=235)
全体	1254人	532人	255人	658人	51人	97人	75人	2922人
割合	73.3%	31.1%	14.9%	38.5%	3.0%	5.7%	4.4%	170.8% (n=1711)

【問2-②】 どのような本を読んでいますか。(2つまでの複数回答)

	小説や物語	伝記	科学読み物	歴史物語	図鑑	趣味やスポーツ	絵本	その他	合計	n
小学3年生	237	72	69	115	94	93	173	41	894	523
	45.3%	13.8%	13.2%	22.0%	18.0%	17.8%	33.1%	7.8%		
小学5年生	358	105	66	91	63	93	41	28	845	500
	71.6%	21.0%	13.2%	18.2%	12.6%	18.6%	8.2%	5.6%		
中学2年生	413	21	16	51	7	68	9	18	603	447
	92.4%	4.7%	3.6%	11.4%	1.6%	15.2%	2.0%	4.0%		
高校2年生	243	8	7	19	6	32	7	23	345	257
	94.6%	3.1%	2.7%	7.4%	2.3%	12.5%	2.7%	8.9%		
全体	1251	206	158	276	170	286	230	110	2687	1727
	72.4%	11.9%	9.1%	16.0%	9.8%	16.6%	13.3%	6.4%		



全体を見ると、最も多く読まれている分野は「小説・物語」であり、次いで「趣味やスポーツ」、「歴史物語」となっている。学年別に見ると、小学校3年生は「小説や物語」と回答した人は他の年代に比べて低くなる(45.3%)ものの、その代わりに「絵本」と回答が33.1%となっている。高校2年生は「小説・物語」を読む人がほとんどであり、他の分野に関しては全体的に低い傾向がうかがえる。

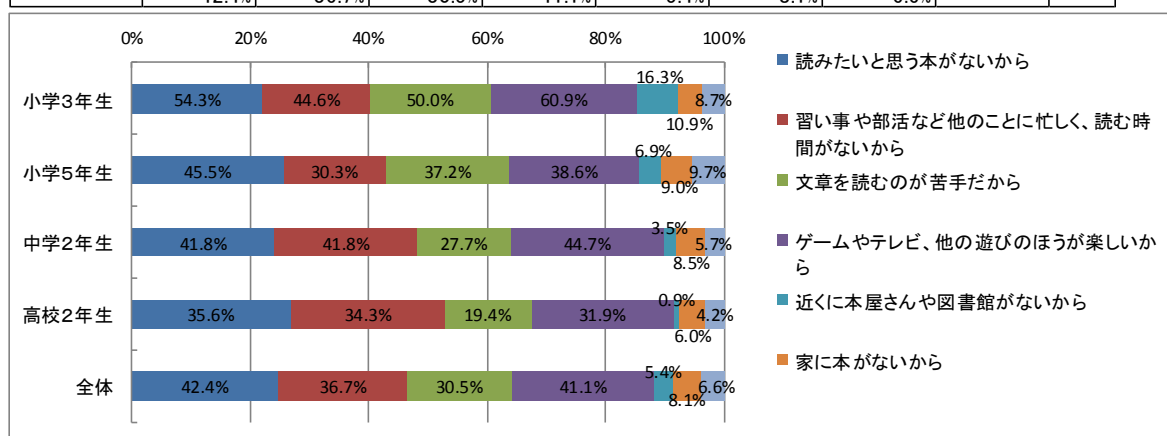
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	合計
	小説や物語	伝記(社会の役に立った人のお話)	科学読み物	歴史物語	図鑑	趣味やスポーツ	絵本	その他	
小学3年	264人	70人	103人	114人	145人	121人	167人	55人	1039人
割合	44.2%	11.7%	17.3%	19.1%	24.3%	20.3%	28.0%	9.2%	174.0% (n=597)
小学5年	350人	107人	41人	59人	49人	113人	58人	41人	818人
割合	69.0%	21.1%	8.1%	11.6%	9.7%	22.3%	11.4%	8.1%	161.3% (n=507)
中学2年	318人	22人	20人	17人	3人	86人	4人	29人	499人
割合	85.5%	5.9%	5.4%	4.6%	0.8%	23.1%	1.1%	7.8%	134.1% (n=372)
高校2年	203人	16人	12人	9人	4人	51人	5人	20人	320人
割合	86.4%	6.8%	5.1%	3.8%	1.7%	21.7%	2.1%	8.5%	136.2% (n=235)
全体	1135人	215人	176人	199人	201人	371人	234人	145人	2676人
割合	66.3%	12.6%	10.3%	11.6%	11.7%	21.7%	13.7%	8.5%	156.4% (n=1711)

〔【問2】で本を「ほとんど読まない」「読まない」と答えた人〕

【問2-③】 どのような理由からですか。(複数回答)

	読みたいと思う本がないから	習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから	文章を読むのが苦手だから	ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから	近くに本屋さんや図書館がないから	家に本がないから	その他	合計	n
小学3年生	50 54.3%	41 44.6%	46 50.0%	56 60.9%	15 16.3%	10 10.9%	8 8.7%	226	92
小学5年生	66 45.5%	44 30.3%	54 37.2%	56 38.6%	10 6.9%	13 9.0%	14 9.7%	257	145
中学2年生	59 41.8%	59 41.8%	39 27.7%	63 44.7%	5 3.5%	12 8.5%	8 5.7%	245	141
高校2年生	77 35.6%	74 34.3%	42 19.4%	69 31.9%	2 0.9%	13 6.0%	9 4.2%	286	216
全体	252 42.4%	218 36.7%	181 30.5%	244 41.1%	32 5.4%	48 8.1%	39 6.6%	1014	594



全体を見ると、本を読まない理由は「読みたいと思う本がないから(42.4%)」が最も多く、次いで「ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから(41.1%)」となっている。
 学年別に見ると、「ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから」と回答しているのは小学校3、5年生、中学校2年生までは「習い事や部活など他のことに忙しく読む時間が無いから」とする回答より多く選択されているが、高校2年生になると逆転し、「習い事や部活」を本を読まない理由に挙げている人が多くなっている。

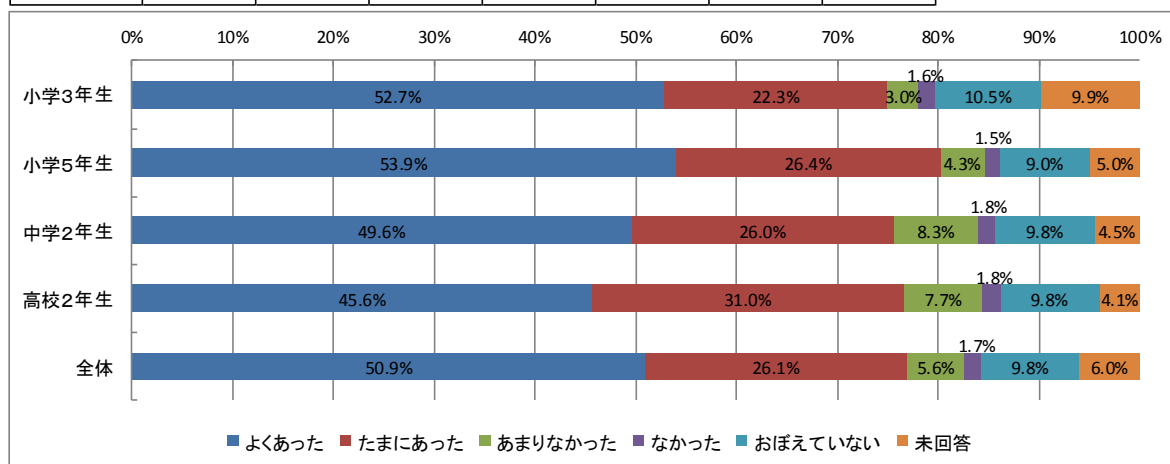
<参考：前回調査結果>

	ア 読みたいと思う本がないから	イ 習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから	ウ 文章をよむことが苦手だから	エ ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから	オ 近くに本屋さんや図書館がないから	カ 家に本がないから	キ その他	合計
小学3年	21人	17人	26人	31人	8人	2人	4人	109人
割合	30.0%	24.3%	37.1%	44.3%	11.4%	2.9%	5.7%	155.7% (n=70)
小学5年	41人	33人	33人	47人	5人	2人	7人	168人
割合	35.0%	28.2%	28.2%	40.2%	4.3%	1.7%	6.0%	143.6% (n=117)
中学2年	60人	69人	51人	70人	4人	10人	15人	279人
割合	38.7%	44.5%	32.9%	45.2%	2.6%	6.5%	9.7%	180.0% (n=155)
高校2年	76人	82人	51人	56人	6人	16人	12人	299人
割合	34.2%	36.9%	23.0%	25.2%	2.7%	7.2%	5.4%	134.7% (n=222)
全体	198人	201人	161人	204人	23人	30人	38人	855人
割合	35.1%	35.6%	28.5%	36.2%	4.1%	5.3%	6.7%	151.6% (n=564)

II 読書環境について

【問3】あなたは小さいとき、本を読んでもらったことがありますか。

	よくあった	たまにあった	あまりなかった	なかった	おぼえていない	未回答	合計
小学3年生	357	151	20	11	71	67	677
	52.7%	22.3%	3.0%	1.6%	10.5%	9.9%	100.0%
小学5年生	366	179	29	10	61	34	679
	53.9%	26.4%	4.3%	1.5%	9.0%	5.0%	100.0%
中学2年生	298	156	50	11	59	27	601
	49.6%	26.0%	8.3%	1.8%	9.8%	4.5%	100.0%
高校2年生	224	152	38	9	48	20	491
	45.6%	31.0%	7.7%	1.8%	9.8%	4.1%	100.0%
全体	1245	638	137	41	239	148	2448
	50.9%	26.1%	5.6%	1.7%	9.8%	6.0%	100.0%



全体としては、50.9%が「よくあった」と回答しており、「たまにあった(26.1%)」と合わせると77%が小さいときに本を読んでもらったと回答していることがわかる。
 学年別に見てもその「よくあった」「たまにあった」の合計は75%を超えている。ただし、「よくあった」のみに着目すると、高校2年生は45.6%で、他の年代に比べてやや低い傾向となっている。

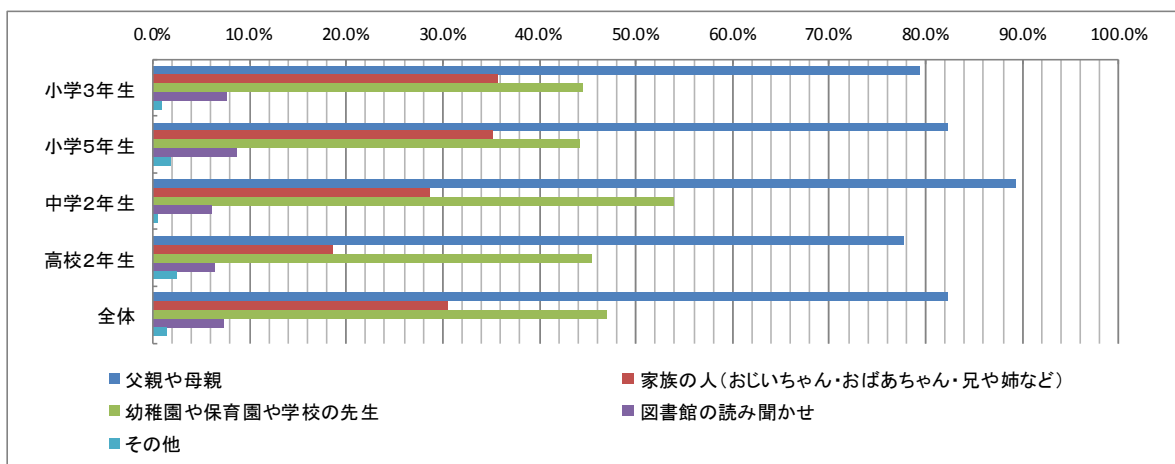
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	未回答	合計
	よくあった	たまにあった	あまりなかった	なかった	おぼえていない		
小学3年	425人	154人	23人	9人	49人	15人	675人
割合	63.0%	22.8%	3.4%	1.3%	7.3%	2.2%	100.0%
小学5年	369人	158人	33人	14人	48人	14人	636人
割合	58.0%	24.8%	5.2%	2.2%	7.5%	2.2%	100.0%
中学2年	244人	154人	49人	8人	67人	18人	540人
割合	45.2%	28.5%	9.1%	1.5%	12.4%	3.3%	100.0%
高校2年	210人	127人	38人	27人	54人	24人	480人
割合	43.8%	26.5%	7.9%	5.6%	11.3%	5.0%	100.0%
全体	1248人	593人	143人	58人	218人	71人	2331人
割合	53.5%	25.4%	6.1%	2.5%	9.4%	3.0%	100.0%

【問3】で読んでもらったことがあると答えた人】

【問3-①】 おもに誰に読んでもらいましたか。(2つまでの複数回答)

	父親や母親	家族の人(おじいちゃん・おばあちゃん・兄や姉など)	幼稚園や保育園や学校の先生	図書館の読み聞かせ	その他	合計	n
小学3年生	403 79.3%	181 35.6%	226 44.5%	39 7.7%	5 1.0%	854	508
小学5年生	448 82.2%	192 35.2%	241 44.2%	47 8.6%	10 1.8%	938	545
中学2年生	405 89.2%	130 28.6%	245 54.0%	28 6.2%	2 0.4%	810	454
高校2年生	292 77.7%	70 18.6%	171 45.5%	24 6.4%	9 2.4%	566	376
全体	1548 82.2%	573 30.4%	883 46.9%	138 7.3%	26 1.4%	3168	1883



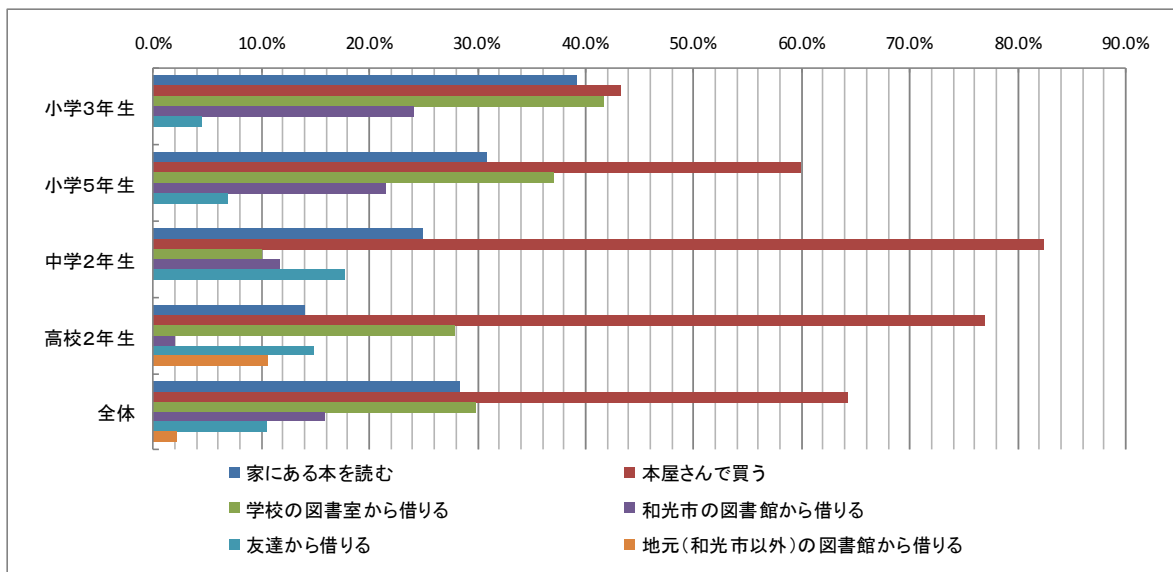
全体を見ると、小さいときに本を読んでくれた人として挙げられているのは「父親や母親」が最も多く、8割以上となっている。次いで「幼稚園や保育園や学校の先生」が46.9%となっており、保育・教育の場での読み聞かせ活動は成長しても記憶・経験として残ることがうかがえる。一方で「図書館の読み聞かせ」と回答した人は7.3%であり、「その他」を除くと最も低い数値となっている。学年別でもおおむね傾向は一致しているが、高校2年生は「家族の人(おじいちゃん・おばあちゃん・兄や姉など)」と回答した人の割合が他の年代に比べて低くなっている。

<参考：前回調査結果>

	ア 父親や母親	イ 家族の人 (祖父母、 兄や姉など)	ウ 幼稚園や 保育園や 学校の先生	エ 図書館の 読み聞かせ	オ その他	合計	
小学3年	486人	210人	245人	37人	19人	997人	(n=579)
割合	83.9%	36.3%	42.3%	6.4%	3.3%	172.2%	
小学5年	447人	154人	241人	29人	6人	877人	(n=527)
割合	84.8%	29.2%	45.7%	5.5%	1.1%	166.4%	
中学2年	337人	115人	185人	21人	7人	665人	(n=398)
割合	84.7%	28.9%	46.5%	5.3%	1.8%	167.1%	
高校2年	264人	73人	135人	37人	7人	516人	(n=337)
割合	78.3%	21.7%	40.1%	11.0%	2.1%	153.1%	
全体	1534人	552人	806人	124人	39人	3055人	(n=1841)
割合	83.3%	30.0%	43.8%	6.7%	2.1%	165.9%	

【問4】あなたは読みたいと思う本をどのようにして手に入れていますか。(2つまでの複数回答)

	家にある本を読む	本屋さんで買う	学校の図書室から借りる	和光市の図書館から借りる	友達から借りる	地元(和光市以外)の図書館から借りる	その他	合計	n
小学3年生	265 39.1%	293 43.3%	282 41.7%	163 24.1%	30 4.4%		22 3.2%	1055	677
小学5年生	210 30.9%	407 59.9%	251 37.0%	146 21.5%	47 6.9%		42 6.2%	1103	679
中学2年生	150 25.0%	495 82.4%	60 10.0%	70 11.6%	106 17.6%		25 4.2%	906	601
高校2年生	69 14.1%	378 77.0%	137 27.9%	10 2.0%	73 14.9%	52 10.6%	17 3.5%	736	491
全体	694 28.3%	1573 64.3%	730 29.8%	389 15.9%	256 10.5%	52 2.1%	106 4.3%	3800	2448



高校生は市内在住者とは限らないことを考慮し、高校2年生向けの設問のみ「地元(和光市以外)の図書館から借りる」という項目を追加した。

全体を見ると、本屋さん(書店)で購入すると回答した人の割合が最も高く、64.3%にのぼる。一方で和光市の図書館から借りると答えた人の割合は約16%となっている。

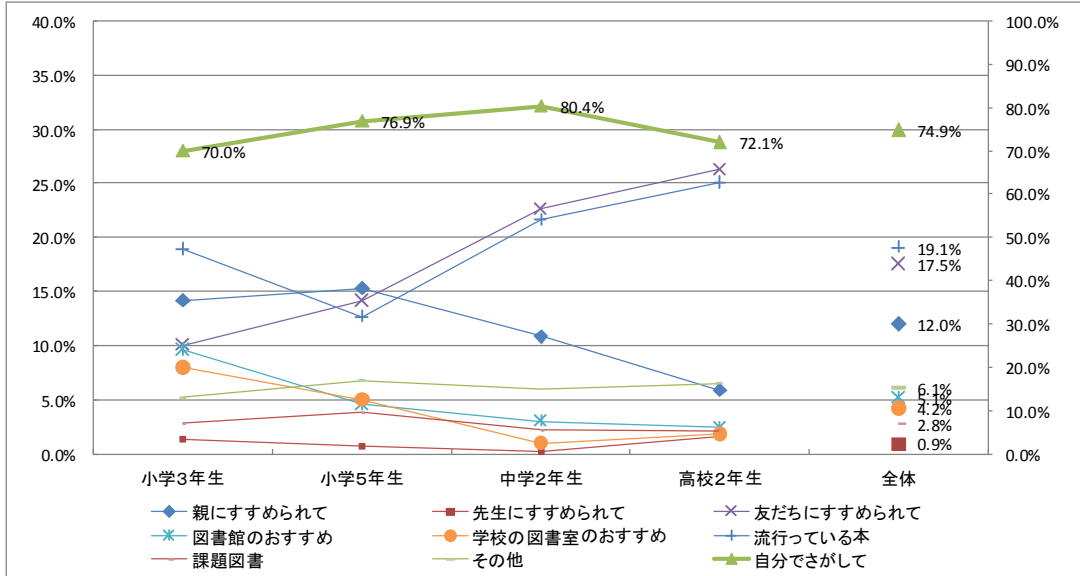
学年別に見ると、小学生は学校図書室を活用しており、3年生が41.7%、5年生が37.0%と高くなっている。「和光市の図書館から借りる」と回答した人は、小学生は20%を超えるものの、中学生は11.6%、高校生は2.0%となっている。一方で高校生は和光市以外の「地元の図書館から借りる」と答えた人が10.6%であり、公共図書館を全く利用していないというわけではないことを理解しておく必要がある。

<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計	
	家にある本を読む	本屋さんで買う	学校の図書室から借りる	和光市の図書館から借りる	友達から借りる	その他		
小学3年	291人	319人	296人	233人	15人	26人	1180人	(n=675)
割合	43.1%	47.3%	43.9%	34.5%	2.2%	3.9%	174.8%	
小学5年	167人	388人	302人	184人	32人	20人	1093人	(n=636)
割合	26.3%	61.0%	47.5%	28.9%	5.0%	3.1%	171.9%	
中学2年	126人	428人	119人	67人	100人	15人	855人	(n=540)
割合	23.3%	79.3%	22.0%	12.4%	18.5%	2.8%	158.3%	
高校2年	71人	358人	127人	11人	82人	48人	697人	(n=480)
割合	14.8%	74.6%	26.5%	2.3%	17.1%	10.0%	145.2%	
全体	655人	1493人	844人	495人	229人	109人	3825人	(n=2331)
割合	28.1%	64.0%	36.2%	21.2%	9.8%	4.7%	164.1%	

【問5】あなたが読む本は、どのようにして選んでいますか。(2つまでの複数回答)

	親にすすめられて	先生にすすめられて	自分でさがして	友だちにすすめられて	図書館のおすすめ	学校の図書室のおすすめ	流行っている本	課題図書	その他	合計	n
小学3年生	96 14.2%	9 1.3%	474 70.0%	68 10.0%	65 9.6%	54 8.0%	128 18.9%	19 2.8%	35 5.2%	948	677
小学5年生	104 15.3%	5 0.7%	522 76.9%	96 14.1%	31 4.6%	34 5.0%	86 12.7%	26 3.8%	46 6.8%	950	679
中学2年生	65 10.8%	1 0.2%	483 80.4%	136 22.6%	18 3.0%	6 1.0%	130 21.6%	13 2.2%	36 6.0%	888	601
高校2年生	29 5.9%	8 1.6%	354 72.1%	129 26.3%	12 2.4%	9 1.8%	123 25.1%	10 2.0%	32 6.5%	706	491
全体	294 12.0%	23 0.9%	1833 74.9%	429 17.5%	126 5.1%	103 4.2%	467 19.1%	68 2.8%	149 6.1%	3492	2448



全体を見ると、本の選び方については「自分でさがす」人が約75%となり、他の項目と比較しても圧倒的であることがわかる。次に多いのが「友達にすすめられて」(17.5%)となっている。
 学年別に見ると、「自分でさがす」は全ての年代において最上位となっている。「図書館のおすすめ」「学校図書室のおすすめ」と答えた割合は小学校3年生では比較的高いものの、学年が上がるとその比重は下がる傾向にある。一方で、「友達にすすめられて」と答える人の割合は学年が上がるに連れて高くなり(高校2年生:26.3%)、本が友人同士を媒介する一つのコミュニケーション要素となり得ることがわかる。

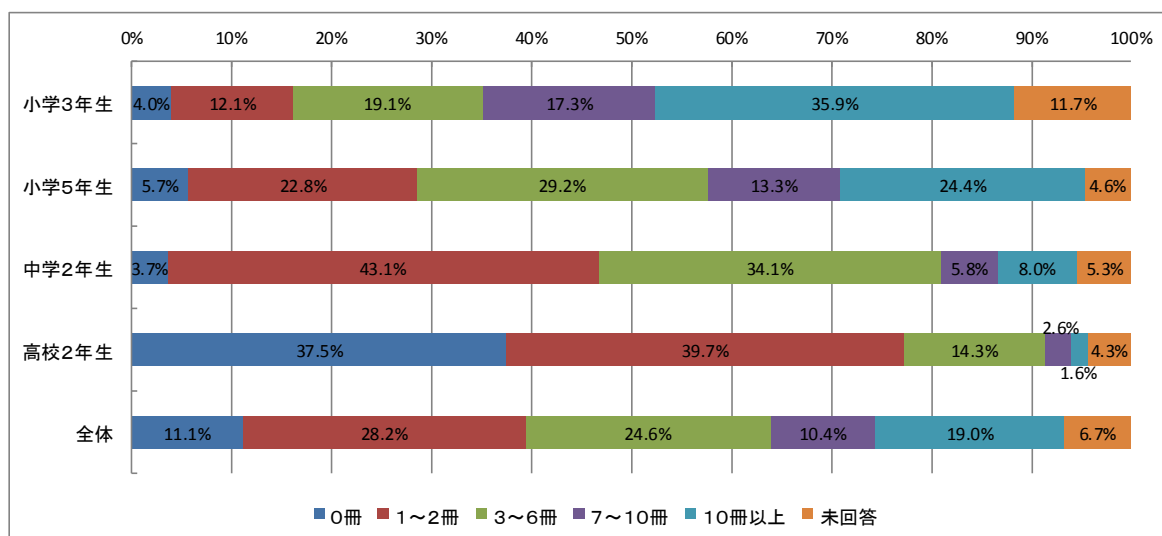
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	合計
	親にすすめられて	先生にすすめられて	自分でさがして	友だちにすすめられて	図書館のおすすめ	学校の図書室のおすすめ	流行っている本	課題図書	その他	
小学3年	127人	9人	558人	76人	82人	53人	87人	29人	47人	1068人
割合	18.8%	1.3%	82.7%	11.3%	12.1%	7.9%	12.9%	4.3%	7.0%	158.2% (n=675)
小学5年	98人	7人	538人	87人	36人	39人	114人	51人	54人	1024人
割合	15.4%	1.1%	84.6%	13.7%	5.7%	6.1%	17.9%	8.0%	8.5%	161.0% (n=636)
中学2年	56人	3人	426人	142人	12人	8人	147人	16人	41人	851人
割合	10.4%	0.6%	78.9%	26.3%	2.2%	1.5%	27.2%	3.0%	7.6%	157.6% (n=540)
高校2年	32人	9人	328人	124人	25人	14人	129人	4人	33人	698人
割合	6.7%	1.9%	68.3%	25.8%	5.2%	2.9%	26.9%	0.8%	6.9%	145.4% (n=480)
全体	313人	28人	1850人	429人	155人	114人	477人	100人	175人	3641人
割合	13.4%	1.2%	79.4%	18.4%	6.6%	4.9%	20.5%	4.3%	7.5%	156.2% (n=2331)

Ⅳ ひと月の読書量について

【問6】 今年の5月中に何冊ぐらいの本を読みましたか。(読み途中で1冊と数える)

	0冊	1～2冊	3～6冊	7～10冊	10冊以上	未回答	合計
小学3年生	27	82	129	117	243	79	677
	4.0%	12.1%	19.1%	17.3%	35.9%	11.7%	100.0%
小学5年生	39	155	198	90	166	31	679
	5.7%	22.8%	29.2%	13.3%	24.4%	4.6%	100.0%
中学2年生	22	259	205	35	48	32	601
	3.7%	43.1%	34.1%	5.8%	8.0%	5.3%	100.0%
高校2年生	184	195	70	13	8	21	491
	37.5%	39.7%	14.3%	2.6%	1.6%	4.3%	100.0%
全体	272	691	602	255	465	163	2448
	11.1%	28.2%	24.6%	10.4%	19.0%	6.7%	100.0%



全体を見ると、5月中の1箇月間において8割以上の人が1冊以上の本を読んでいるということが出来る。
 学年別に見ると、小学校3年生は35.9%の人が10冊以上の本を読んでいると回答しており、5年生の24.4%とともに小学生では多くの児童が本を読んでいることが分かる。一方で、1箇月間で「0冊」と回答した人は中学2年生までは多くても5.7%となっているが、高校2年生になると37.5%にのぼり、多くの生徒が本を読まなくなっていることが分かる。

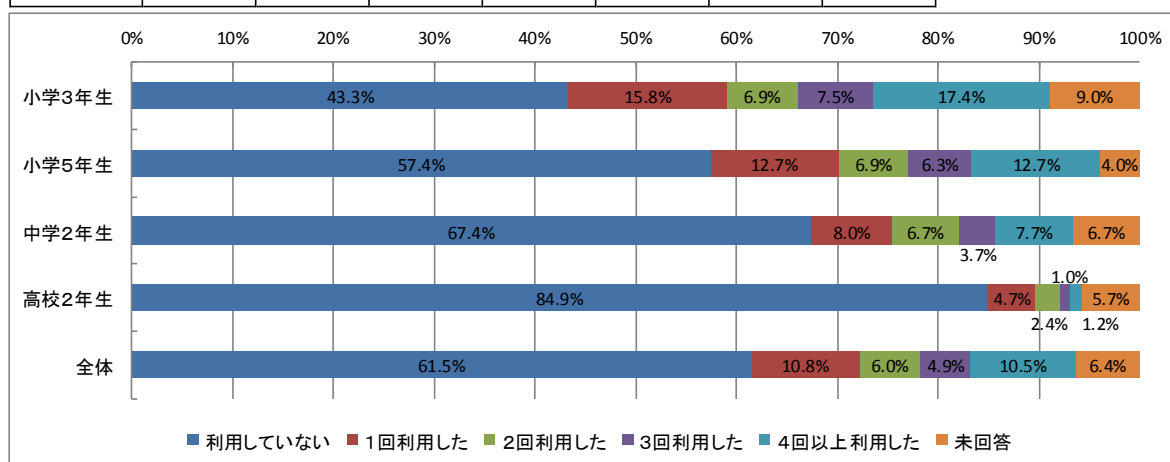
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	未回答	合計	
	0冊	1～2冊	3～6冊	7～10冊	10冊以上			
小学3年	22人	80人	141人	105人	310人	17人	675人	(n=675)
割合	3.3%	11.9%	20.9%	15.6%	45.9%	2.5%	100.0%	
小学5年	29人	124人	201人	100人	166人	16人	636人	(n=636)
割合	4.6%	19.5%	31.6%	15.7%	26.1%	2.5%	100.0%	
中学2年	50人	221人	161人	35人	55人	18人	540人	(n=540)
割合	9.3%	40.9%	29.8%	6.5%	10.2%	3.3%	100.0%	
高校2年	192人	164人	62人	16人	14人	32人	480人	(n=480)
割合	40.0%	34.2%	12.9%	3.3%	2.9%	6.7%	100.0%	
全体	293人	589人	565人	256人	545人	83人	2331人	(n=2331)
割合	12.6%	25.3%	24.2%	11.0%	23.4%	3.6%	100.0%	

V 和光市立図書館の利用状況

【問7】あなたは、5月中に和光市図書館、下新倉分館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を何回利用しましたか。

	利用していない	1回利用した	2回利用した	3回利用した	4回以上利用した	未回答	合計
小学3年生	293	107	47	51	118	61	677
	43.3%	15.8%	6.9%	7.5%	17.4%	9.0%	100.0%
小学5年生	390	86	47	43	86	27	679
	57.4%	12.7%	6.9%	6.3%	12.7%	4.0%	100.0%
中学2年生	405	48	40	22	46	40	601
	67.4%	8.0%	6.7%	3.7%	7.7%	6.7%	100.0%
高校2年生	417	23	12	5	6	28	491
	84.9%	4.7%	2.4%	1.0%	1.2%	5.7%	100.0%
全体	1505	264	146	121	256	156	2448
	61.5%	10.8%	6.0%	4.9%	10.5%	6.4%	100.0%



全体を見ると、5月中の1箇月間において、6割以上の方が和光市内の図書館・図書室を利用していないことがわかる。一方で、約3割の人が1回以上利用しており、中でも4回以上利用している人は1割程度いることがわかる。
学年別に見ると、年代があがるにつれて図書館を利用しない傾向が見受けられ、高校2年生になると約85%が利用していないと回答している。高校生になると市外在住の人も多数在学しており、問4の「地元(和光市以外)の図書館」を利用していることも一因と考えられる。

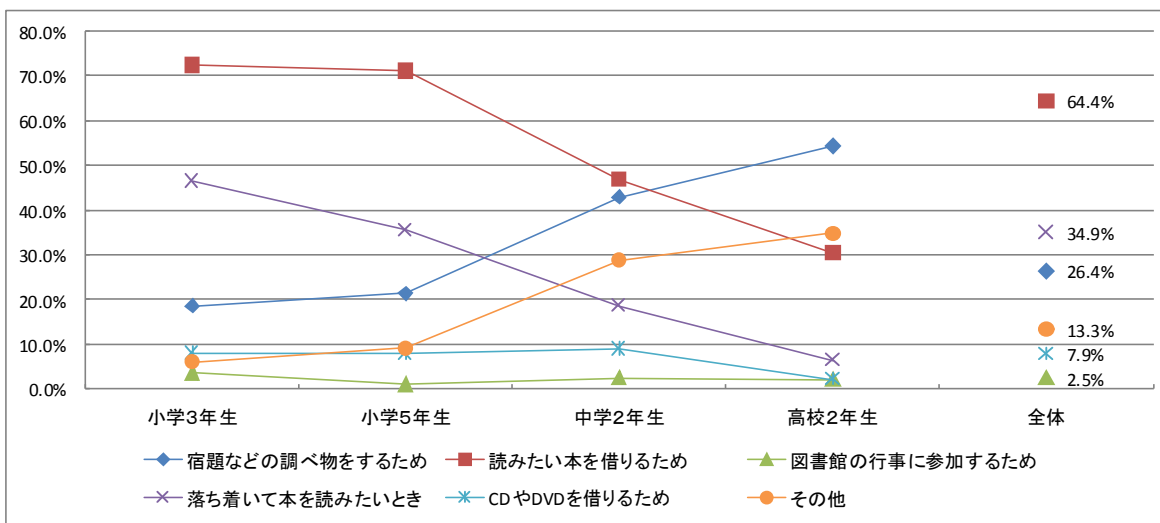
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	未回答	合計	
	利用していない	1回利用した	2回利用した	3回利用した	4回以上利用した			
小学3年	286人	122人	87人	50人	110人	20人	675人	(n=675)
割合	42.4%	18.1%	12.9%	7.4%	16.3%	3.0%	100.0%	
小学5年	355人	87人	76人	43人	60人	15人	636人	(n=636)
割合	55.8%	13.7%	11.9%	6.8%	9.4%	2.4%	100.0%	
中学2年	374人	69人	35人	19人	26人	17人	540人	(n=540)
割合	69.3%	12.8%	6.5%	3.5%	4.8%	3.1%	100.0%	
高校2年	409人	16人	5人	4人	14人	32人	480人	(n=480)
割合	85.2%	3.3%	1.0%	0.8%	2.9%	6.7%	100.0%	
全体	1424人	294人	203人	116人	210人	84人	2331人	(n=2331)
割合	61.1%	12.6%	8.7%	5.0%	9.0%	3.6%	100.0%	

【問7】で利用したと答えた人】

【問7-①】 どんなときに利用しますか。(2つまでの複数回答)

	宿題などの調べ物をするため	読みたい本を借りるため	図書館の行事に参加するため	落ち着いて本を読みたいとき	CDやDVDを借りるため	その他	合計	n
小学3年生	60 18.6%	234 72.4%	12 3.7%	150 46.4%	26 8.0%	20 6.2%	502	323
小学5年生	56 21.4%	186 71.0%	3 1.1%	93 35.5%	21 8.0%	24 9.2%	383	262
中学2年生	67 42.9%	73 46.8%	4 2.6%	29 18.6%	14 9.0%	45 28.8%	232	156
高校2年生	25 54.3%	14 30.4%	1 2.2%	3 6.5%	1 2.2%	16 34.8%	60	46
全体	208 26.4%	507 64.4%	20 2.5%	275 34.9%	62 7.9%	105 13.3%	1177	787



図書館を利用する理由として、「読みたい本を借りるため」と回答した人は小学生(3・5年生)では7割を超えているのに対し、中学2年生では46.8%、高校生は30.4%と年齢が上がるにつれて割合が下がる傾向にある。同様に、「落ち着いて本を読みたいとき」という回答も年齢が高くなるにつれて割合が下がっている。それに対し、「宿題などの調べ物をするとき」と回答した人は、年齢が上がるに連れて高くなる傾向にあることがわかる。

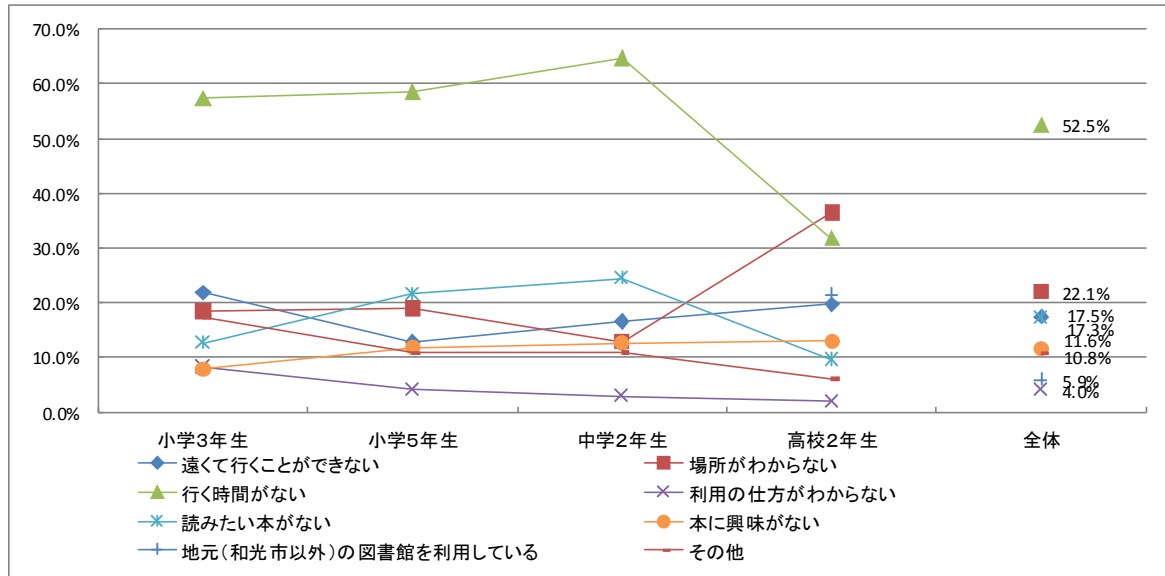
<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計	
	宿題などの調べ物をするため	読みたい本を借りるため	図書館の行事に参加するため	落ち着いて本を読みたいとき	CDやDVDを借りるため	その他		
小学3年	70人	288人	13人	184人	28人	19人	602人	(n=369)
割合	19.0%	78.0%	3.5%	49.9%	7.6%	5.1%	163.1%	
小学5年	72人	204人	3人	93人	20人	16人	408人	(n=266)
割合	27.1%	76.7%	1.1%	35.0%	7.5%	6.0%	153.4%	
中学2年	62人	85人	1人	24人	18人	23人	213人	(n=149)
割合	41.6%	57.0%	0.7%	16.1%	12.1%	15.4%	143.0%	
高校2年	13人	19人	2人	5人	7人	8人	54人	(n=39)
割合	33.3%	48.7%	5.1%	12.8%	17.9%	20.5%	138.5%	
全体	217人	596人	19人	306人	73人	66人	1277人	(n=823)
割合	26.4%	72.4%	2.3%	37.2%	8.9%	8.0%	155.2%	

【問7】で利用していないと答えた人

【問7-②】和光市内の図書館を利用しないのは、どんな理由からですか。(2つまでの複数回答)

	遠くに行くことができない	場所がわからない	行く時間がない	利用の仕方がわからない	読みたい本がない	本に興味がない	地元(和光市以外)の図書館を利用している	その他	合計	n
小学3年生	64 21.8%	54 18.4%	168 57.3%	24 8.2%	37 12.6%	23 7.8%		51 17.4%	421	293
小学5年生	50 12.8%	74 19.0%	228 58.5%	16 4.1%	84 21.5%	46 11.8%		42 10.8%	540	390
中学2年生	67 16.5%	52 12.8%	262 64.7%	12 3.0%	99 24.4%	51 12.6%		44 10.9%	587	405
高校2年生	82 19.7%	152 36.5%	132 31.7%	8 1.9%	40 9.6%	54 12.9%	89 21.3%	25 6.0%	582	417
全体	263 17.5%	332 22.1%	790 52.5%	60 4.0%	260 17.3%	174 11.6%	89 5.9%	162 10.8%	2130	1505



高校生は市内在住者とは限らないことを考慮し、高校2年生向けの設問のみ「地元(和光市以外)の図書館を利用している」という項目を追加した。

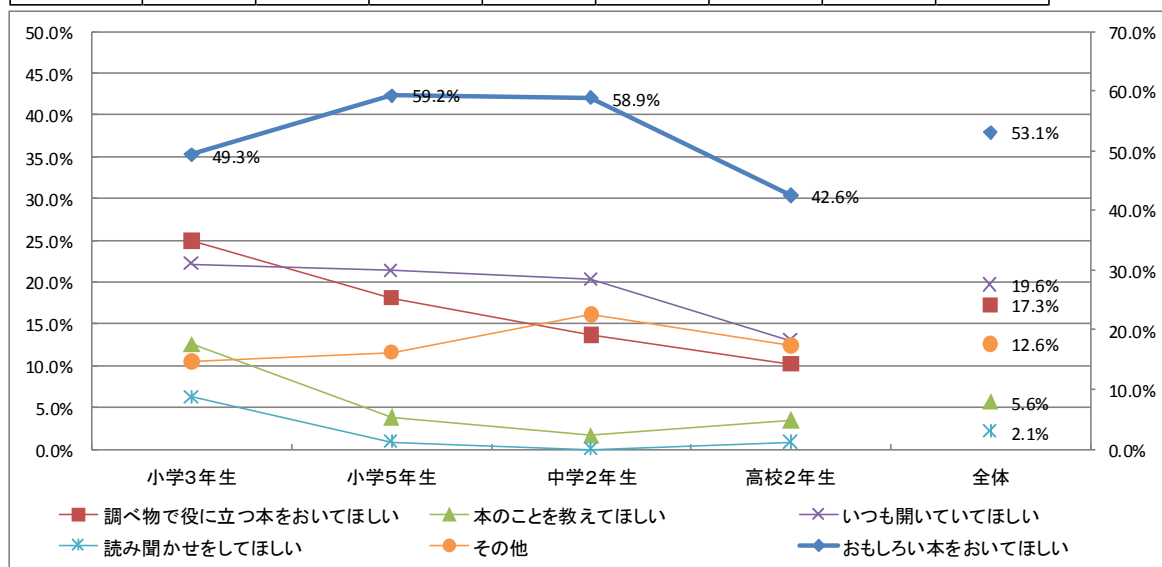
全体的な傾向としては、「行く時間がない」ことが全体の半数以上を占めている。一方で高校生は市外在住者が多いためか、「場所がわからない」と回答する人が最も多い回答となっている。また、「読みたい本がない」という回答は小学校5年生、中学2年生で2割を超えている。これは本人の読書欲求が少ないことによるものか、和光市図書館の蔵書と本人の求める本のギャップが理由かは明らかでない。

<参考：前回調査結果>

	ア 遠くに行けない	イ 場所がわからない	ウ 行く時間がない	エ 利用の仕方がわからない	オ 読みたい本がない	カ 本に興味がない	キ その他	合計	
小学3年	56人	71人	164人	22人	31人	18人	30人	392人	
割合	19.6%	24.8%	57.3%	7.7%	10.8%	6.3%	10.5%	137.1%	(n=286)
小学5年	44人	65人	202人	12人	58人	24人	50人	455人	
割合	12.4%	18.3%	56.9%	3.4%	16.3%	6.8%	14.1%	128.2%	(n=355)
中学2年	43人	28人	197人	7人	87人	60人	51人	473人	
割合	11.5%	7.5%	52.7%	1.9%	23.3%	16.0%	13.6%	126.5%	(n=374)
高校2年	95人	129人	118人	15人	60人	63人	41人	521人	
割合	23.2%	31.5%	28.9%	3.7%	14.7%	15.4%	10.0%	127.4%	(n=409)
全体	238人	293人	681人	56人	236人	165人	172人	1841人	
割合	16.7%	20.6%	47.8%	3.9%	16.6%	11.6%	12.1%	129.3%	(n=1424)

【問8】和光市図書館に希望することはなんですか。

	おもしろい本をおいてほしい	調べ物で役に立つ本をおいてほしい	本のことを教えてほしい	いつも開いていてほしい	読み聞かせをしてほしい	その他	合計	n
小学3年生	334	169	85	150	42	71	851	677
	49.3%	25.0%	12.6%	22.2%	6.2%	10.5%		
小学5年生	402	123	26	145	6	79	781	679
	59.2%	18.1%	3.8%	21.4%	0.9%	11.6%		
中学2年生	354	82	10	122	0	97	665	601
	58.9%	13.6%	1.7%	20.3%	0.0%	16.1%		
高校2年生	209	50	17	64	4	61	405	491
	42.6%	10.2%	3.5%	13.0%	0.8%	12.4%		
全体	1299	424	138	481	52	308	2702	2448
	53.1%	17.3%	5.6%	19.6%	2.1%	12.6%		



全体を見ると、図書館には「おもしろい本をおいてほしい」という希望が5割を超えて最多となっている。次いで「いつも開いていてほしい」が19.6%となっている。
 学年別でも全体とほぼ同様の傾向が示されているが、小学校3年生は「調べ物で役に立つ本を置いてほしい」という希望が多く、25.0%に及ぶ。

<参考：前回調査結果>

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	合計	
	おもしろい本をおいてほしい	調べ物で役に立つ本をおいてほしい	本のことを教えてほしい	いつも開いていてほしい	読み聞かせをしてほしい	その他		
小学3年	438人	182人	79人	169人	77人	67人	1012人	(n=675)
割合	64.9%	27.0%	11.7%	25.0%	11.4%	9.9%	149.9%	
小学5年	369人	112人	25人	137人	11人	78人	732人	(n=636)
割合	58.0%	17.6%	3.9%	21.5%	1.7%	12.3%	115.1%	
中学2年	307人	58人	20人	97人	3人	117人	602人	(n=540)
割合	56.9%	10.7%	3.7%	18.0%	0.6%	21.7%	111.5%	
高校2年	216人	48人	17人	55人	7人	60人	403人	(n=480)
割合	45.0%	10.0%	3.5%	11.5%	1.5%	12.5%	84.0%	
全体	1330人	400人	141人	458人	98人	322人	2749人	(n=2331)
割合	57.1%	17.2%	6.0%	19.6%	4.2%	13.8%	117.9%	

アンケート調査票 (小中学生用)

読書活動についてのアンケート

学校名()学校 学年()年

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。

ア 好き イ どちらかといえば好き ウ どちらかといえば嫌い エ 嫌い

問2 あなたは、本をよく読むほうですか。(まんが、雑誌をのぞく)

ア よく読む イ たまに読む ウ ほとんど読まない エ 読まない

問2-① 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

本を読むのは、どんな理由からですか。(2つまで選んでください)

ア たのしく、おもしろいから イ 知らないことがわかり、ためになるから ウ 考える力がつくから
 エ 好きな作家やシリーズがあるから オ 先生や家の人がすすめるから カ 友達との話題になるから
 キ その他()

問2-② 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

どんな本を読んでいますか。(2つまで選んでください)

ア 小説や物語 イ 伝記(社会の役に立った人のお話) ウ 科学読み物 エ 歴史物語
 オ 図鑑 カ 趣味やスポーツ キ 絵本 ク その他()

問2-③ 問2の質問で、「ウ、エ」を選んだ人だけ教えてください。

どんな理由からですか。(いくつでも選んでください。)

ア 読みたいと思う本がないから イ 習い事や部活など他のことにそがしく、読む時間がないから
 ウ 文章をよむことが苦手だから エ ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから
 オ 近くに本屋さんや図書館がないから カ 家に本がないから キ その他()

問3 あなたは小さいとき、本を読んでもらったことがありますか。

ア よくあった イ たまにあった ウ あまりなかった エ なかった オ おぼえていない

問3-① 問3の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

おもに誰に読んでもらいましたか。(2つまで選んでください)

ア 父親や母親 イ 家族の人(おじいちゃん・おばあちゃん、兄や姉など) ウ 幼稚園や保育園や学校の先生
 エ 図書館の読み聞かせ オ その他()

(裏面に続きます)

問4 あなたは読みたいと思う本はどのようにして手に入れてありますか。(2つまで選んでください)

- ア 家にある本を読む イ 本屋さんで買う ウ 学校の図書室から借りる
エ 和光市の図書館から借りる オ 友達から借りる カ その他()

問5 あなたが読む本は、どのようにして選んでいますか。(2つまで選んでください)

- ア 親にすすめられて イ 先生にすすめられて ウ 自分でさがして エ 友だちにすすめられて
オ 図書館のおすすめ カ 学校の図書室のおすすめ キ 流行っている本
ク 課題図書 ケ その他()

問6 今年の5月中に何冊くらいの本を読みましたか。

(読んでいる途中でも1冊と数えてください)

- ア 0冊 イ 1～2冊 ウ 3～6冊 エ 7～10冊 オ 10冊以上

問7 あなたは、5月中に和光市図書館、下新倉分館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館

図書室を何回利用しましたか。

- ア 利用していない イ 1回利用した ウ 2回利用した エ 3回利用した オ 4回以上利用した

問7-① 問7の質問で、「イ、ウ、エ、オ」を選んだ人だけ答えてください。

どんなときに利用しますか。(2つまで選んでください)

- ア 宿題などの調べ物をするため イ 読みたい本を借りるため ウ 図書館の行事に参加するため
エ 落ち着いて本を読みみたいとき オ CDやDVDを借りるため カ その他()

問7-② 問7の質問で、「ア」を選んだ人だけ答えてください。

和光市内の図書館を利用しないのは、どんな理由からですか。(2つまで選んでください)

- ア 遠くに行くことができない イ 場所がわからない ウ 行く時間がない エ 利用の仕方がわからない
オ 読みたい本がない カ 本に興味がない キ その他()

問8 和光市図書館に希望することはなんですか。

- ア おもしろい本をおいてほしい イ 調べ物で役に立つ本をおいてほしい ウ 本のことを教えてほしい
エ いつも開いていてほしい オ 読み聞かせをしてほしい カ その他()



ご協力ありがとうございました。

和光市図書館

アンケート調査用（高校生用）

読書活動についてのアンケート

学校名()高等学校 学年(2)年

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。

ア 好き イ どちらかといえば好き ウ どちらかといえば嫌い エ 嫌い

問2 あなたは、本をよく読むほうですか。(まんが、雑誌をのぞく)

ア よく読む イ たまに読む ウ ほとんど読まない エ 読まない



問2-① 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

本を読むのは、どんな理由からですか。(2つまで選んでください)

ア 楽しく、面白いから イ 知らないことがわかり、ためになるから ウ 考える力がつくから
 エ 好きな作家やシリーズがあるから オ 先生や家族がすすめるから カ 友達との話題になるから
 キ その他()

問2-② 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

どんな本を読んでいますか。(2つまで選んでください)

ア 小説や物語 イ 伝記 ウ 科学読み物 エ 歴史物語
 オ 図鑑 カ 趣味やスポーツ キ 絵本 ク その他()

問2-③ 問2の質問で、「ウ、エ」を選んだ人だけ教えてください。

どんな理由からですか。(いくつでも選んでください。)

ア 読みたいと思う本がないから イ 習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから
 ウ 文章をよむことが苦手だから エ ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから
 オ 近くに本屋や図書館がないから カ 家に本がないから キ その他()

問3 あなたは小さいとき、本を読んでもらったことがありますか。

ア よくあった イ たまにあった ウ あまりなかった エ なかった オ おぼえていない



問3-① 問3の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

おもに誰に読んでもらいましたか。(2つまで選んでください)

ア 父親や母親 イ 家族の人(祖父母、兄や姉など) ウ 幼稚園や保育園や学校の先生
 エ 図書館の読み聞かせ オ その他()

(裏面に続きます)

問4	あなたは読みたいと思う本はどのようにして手に入れていますか。(2つまで選んでください)				
	ア 家にある本を読む	イ 本屋で買う	ウ 学校の図書室から借りる	エ 和光市の図書館から借りる	
	オ 友達から借りる	カ 地元(和光市以外)の図書館から借りる	キ その他()		
問5	あなたが読む本は、どのようにして選んでいますか。(2つまで選んでください)				
	ア 親にすすめられて	イ 先生にすすめられて	ウ 自分でさがして	エ 友だちにすすめられて	
	オ 図書館のおすすめ	カ 学校の図書室のおすすめ	キ 流行っている本		
	ク 課題図書	ケ その他()			
問6	今年の5月中に何冊くらいの本を読みましたか。 (読んでいる途中でも1冊と数えてください)				
	ア 0冊	イ 1~2冊	ウ 3~6冊	エ 7~10冊	オ 10冊以上
問7	あなたは、5月中に和光市図書館、下新倉分館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を何回利用しましたか。				
	ア 利用していない	イ 1回利用した	ウ 2回利用した	エ 3回利用した	オ 4回以上利用した
	↓				
	問7-① 問7の質問で、「 <u>イ</u> 、 <u>ウ</u> 、 <u>エ</u> 、 <u>オ</u> 」を選んだ人だけ答えてください。				
	どんなときに利用しますか。(2つまで選んでください)				
	ア 宿題などの調べ物をするため	イ 読みたい本を借りるため	ウ 図書館の行事に参加するため		
	エ 落ち着いて本を読みたいとき	オ CDやDVDを借りるため	カ その他()		
	問7-② 問7の質問で、「 <u>ア</u> 」を選んだ人だけ答えてください。				
	和光市内の図書館を利用しないのは、どんな理由からですか。(2つまで選んでください)				
	ア 遠くに行くことができない	イ 場所がわからない	ウ 行く時間がない	エ 利用の仕方がわからない	
	オ 読みたい本がない	カ 本に興味がない	キ 地元(和光市以外)の図書館を利用している		
	ク その他()				
問8	和光市図書館に希望することはなんですか。				
	ア おもしろい本をおいてほしい	イ 調べ物で役に立つ本をおいてほしい	ウ 本のことを教えてほしい		
	エ いつも開いていてほしい	オ 読み聞かせ(朗読含む)をしてほしい	カ その他()		
	ご協力ありがとうございました。				
	和光市図書館				

アンケート調査票（各公共施設用）

第3次和光市子ども読書活動推進計画等の策定に伴うアンケート調査

学校名		記入者名	
-----	--	------	--

I 読書活動について

1 朝の読書を実施していますか

実施している ・ 実施していない(理由)

-
- ① 回数(年・月・週 回)
 - ② 時間帯(時 分 ~ 時 分)
 - ③ 対象(年生 ~ 年生)
 - ④ 内容()
 - ⑤ 成果()

2 読み聞かせを実施していますか

実施している ・ 実施していない(理由)

-
- ① 回数(年・月・週 回)
 - ② 実施者(保護者のボランティア ・ 図書館アドバイザー ・ 地域のボランティア(団体名:) ・ 教師・その他())
 - ③ 時間帯(時 分 ~ 時 分)
 - ④ 対象(年生 ~ 年生)
 - ⑤ 内容()
 - ⑥ 成果()

3 読書関係の取組みを実施していますか(保護者向け・子ども向け)

※実施している場合は内容を記入してください。

4 図書館からの団体貸出の本以外に学級に本がありますか

ある(種類:) ・ ない

II 学校図書館の活用等について

1 学校図書館をいつ利用していますか ※複数回答可

- ① 教科の時間(国語・理科等)
- ② 総合的な学習の時間
- ③ その他()

2 学校図書の選書は誰がしていますか ※複数回答可

① 教師 ② 図書館アドバイザー ③ その他()

3 学校図書館の活用や選書などについて、ご意見ご要望があれば記入してください

4 学校図書館の運営上、困っていること等があれば記入してください。

Ⅲ 学校図書館システムについて

1 システムは使いやすいですか

使いやすい ・ 使いにくい(理由:)

2 主に利用している業務は何ですか ※複数回答可

① 返却・貸出業務 ② 資料管理 ③ 帳票印刷 ④ 運用設定 ⑤ 蔵書点検
⑥ 年度処理 ⑦ その他()

3 貸出数・除籍数・所蔵数など、必要とする統計指標があれば記入してください。

4 その他学校図書館システムについて、ご意見・ご要望があれば記入してください

Ⅳ 図書館事業について

1 団体貸出の実施時期は適切ですか

適切ではない(理由:) ・ 適切である

↳ 適切な時期を記入してください(月頃)

2 団体貸出の本は利用されていますか

利用されている ・ 利用されていない(理由:)

- ① 朝の読書
② 休み時間
③ 放課後
④ 調べ学習
⑤ その他()

3 その他団体貸出について、ご意見・ご要望があれば記入してください。

4 テーマ別の本の貸出しについて、ご意見・ご要望があれば記入してください。

5 図書館で主催している事業(読み聞かせ・講座など)について、ご意見・ご要望があれば記入してください。

その他、和光市図書館と学校との連携などご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました 和光市図書館

○子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

第百五十三回臨時国会

第一次小泉内閣

子どもの読書活動の推進に関する法律をここに公布する。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読

書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

「すべての子どもに読書の喜びを」
(第3次和光市子ども読書活動推進計画 2018～2022)

発行日 平成30年3月

編集 和光市図書館

発行 和光市図書館

〒351-0114 和光市本町 31-1

電話番号 048-463-8723